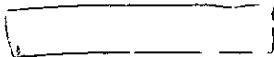


## 添付資料

1. 収集資料リスト
2. 各ドナーの州別活動計画 (ESDP Action Plan, Appendix B 翻訳)
3. プロジェクトの上位目標 (正式要請書 Annex2 翻訳)
4. 1kw 中波ラジオ送信電波カバレッジ
5. 10kw 中波ラジオ送信電波カバレッジ
6. EMA 側設備機材要請システム概要
7. EMA 標準スタジオ建物設計図
8. 小中学校視察結果
9. 州教育局面会結果
10. 州別教育予算額 (ESDP Action Plan, Appendix D)
11. 協議議事録
12. 面会者リスト



## 添付資料1 収集資料リスト

### 教育省

- ・ A Study on Strategy of Organizing Teacher Education for Primary Level, 1999
- ・ Education and Training Policy, 1994
- ・ Education For All (EFA2000), 2000
- ・ Education Sector Development Program (ESDP), Action Plan, 1999
- ・ ESDP, Consolidated National Performance Report:1998/99
- ・ ESDP, Implementation Manual, 1998
- ・ Education Sector Strategy, 1994
- ・ Education Statistics Annual Abstract (ESAA), 1997-98 (部分コピー)
- ・ Education Statistics Annual Abstract (ESAA), 1998-99
- ・ Indicators of The Ethiopian Education System, 1999
- ・ Minimum Quality Standard of the Elementary School, 1996
- ・ Project for upgrading 17,000 under qualified Second Cycle Primary School teachers to qualification level through Distance Education”

### EMA

- ・ Educational Television: Teacher's Guide
- ・ Distance Education, Radio Support: Student's Guide
- ・ Learning at a Distance
- ・ Supporting Distance Learners: Tutor's Guide

### 州

- ・ ESDP, Afar Region (部分コピー)
- ・ ESDP, Benishangul-Gumuz Region
- ・ ESDP, Dire Dawa Region (部分コピー)
- ・ ESDP, Gambella Region (部分コピー)
- ・ ESDP, Harari Region (部分コピー)
- ・ ESDP, Region 14 (部分コピー)
- ・ ESDP, SNNP Region (部分コピー)

### 統計局

- ・ The 1994 Population and Housing Census of Ethiopia Results at Country Level Volume II Analytical Report, Central Statistical Authority, 1999
- ・ Statistical Abstract, 1998

### 世界銀行

- ・ Ethiopia Social Sector Note, 1998
- ・ Ethiopia Social Sector Report, 1998
- ・ Staff Appraisal Report Tanzania, Human Resources Development Pilot Project, 1997
- ・ Tanzania: Social Sector Review

### UNICEF

- ・ Programme Plan of Operations for UNICEF-assisted Education Programme (1999-2001)

### JICA

- ・ エチオピア教育分野企画調査報告書, 横関祐見子, 1998
- ・ エチオピア国教育/保健セクタープログラム上半期企画調査報告書, 亀井里美, 2000
- ・ エチオピア国セクター開発計画, 原田陽子, 1999
- ・ 教育セクタープログラム, 横関祐見子, 1998
- ・ 個別専門家総合報告書, 鈴木周次, 1998

## 添付資料 2 各ドナーの州別活動計画 (ESDP Action Plan, Appendix B 翻訳)

### (1) Tigray 州 :

- ドイツ 成人のための非公式教育 (N F E) 基礎教育と技能訓練、  
N E F 訓練者の訓練、小学校のリハビリ、小学校教師の訓練  
とカリキュラム開発、教育マネージャーの訓練
- アイルランド 成人識字教育、N E F 基礎教育センター、スペシャルニーズ  
スクール、学校図書館、小学校建設/リハビリ・造作、小学校  
教師及び校長の訓練、
- スウェーデン (SIDA) :  
カリキュラム開発、常勤教師の訓練、テキストブック制作  
の技術協力
- 国連開発計画(UNDP) :  
新小学校カリキュラムのモニタリングと評価
- 国連教育科学文化機関(UNESCO)  
環境教育関連N E F 教師の訓練、教師ガイドの開発
- 国連児童基金(UNICEF) :  
教育メディアと教師訓練
- アメリカ 経費支援、教育教材、学校管理、地方教育事務所のキャパシ  
ティビルディング (プランナー、カリキュラム開発者、教師指導  
者、教育管理者、資金管理者) 校長の教育、地域社会関係学校  
委員会の訓練
- 世界食料計画(WFP) :  
慢性的食料不足の小学校への給食

### (2) Afar 州

- スウェーデン カリキュラム開発、常勤教師の訓練、テキストブック制作の  
技術協力
- 国連開発計画 新小学校カリキュラムのモニタリングと評価  
小学校 4 校の建設
- 国連児童基金 カリキュラムと指導マニュアルの開発、女性教育、教師訓練
- 世界食料計画 慢性的食料不足の小学校への給食

### (3) Amhara 州

- フィンランド 非公式教育カリキュラムと評価、全てのレベルの校長と教育、  
管理者の訓練、R E B キャパシティビルディング、初等教育

カリキュラム開発と普及、現役教師の訓練、教育学センターの開発、リハビリマネージメントのキャパシティビルディング、モニタリング/評価と調査研究キャパシティビルディング

ドイツ 技術及び職業教育訓練  
スウェーデン カリキュラム開発、常勤教師の訓練、テキストブック制作の技術協力、小学校 30 校の建設  
国連開発計画 新小学校カリキュラムのモニタリングと評価  
小学校 4 校の建設

国連教育科学文化機関

環境教育関連 N E F 教師の訓練、教師ガイドの開発

国連人口活動基金(UNFPA)

教師教育参考書及び教育教材

国連児童基金 カリキュラムと指導マニュアルの開発、女性教育、教師訓練  
世界食料計画 慢性的食料不足の小学校への給食

#### (4) Oromia 州

DfID 初等教育の全般的支援

ドイツ 成人のための非公式教育 (N F E) 基礎教育と技能訓練、  
N E F 訓練者の訓練、小学校のリハビリ、小学校教師の訓練  
とカリキュラム開発、教育マネージャーの訓練

スウェーデン カリキュラム開発、常勤教師の訓練、テキストブック制作の  
技術協力

国連開発計画 新小学校カリキュラムのモニタリングと評価

国連教育科学文化機関

環境教育関連 N E F 教師の訓練と教師ガイドの開発

国連人口活動基金

教師教育参考書及び教育教材

国連児童基金 カリキュラムと指導マニュアルの開発、女性教育、教師訓練  
世界食料計画 慢性的食料不足の小学校への給食

#### (5) Somali 州

スウェーデン カリキュラム開発、常勤教師の訓練、テキストブック制作 の  
技術協力

国連開発計画 新小学校カリキュラムのモニタリングと評価、小学校 4 校の  
内装、小学校 4 校の建設

国連児童基金 教育メディア、カリキュラムと教授教材の開発

(6) Benishangul-Gumuz 州

DfID	初等教育の全般的支援
フィンランド	非公式教育 (NFE) カリキュラムと評価、全レベルの校長と教育管理者の訓練、REB キャパシティビルディング、初等教育カリキュラム開発と普及、在勤教師の訓練、教育学センター開発、技術・職業教育訓練 (TVET) カリキュラム開発、リハビリマネージメントのキャパシティビルディング、モニタリング/評価及び調査研究キャパシティビルディング
ドイツ	成人のための非公式教育 (NFE) 基礎教育と技能訓練、NEF 訓練者の訓練
スウェーデン	新小学校カリキュラムのモニタリングと評価、小学校 4 校の建設
国連開発計画	小学校 4 校の建設
国連児童基金	カリキュラムと教授教材の開発、女性教育、教師訓練

(7) SNNP 州

ドイツ	技術・職業教育訓練 (TVET) 教師訓練、非公式教育(NFE)成人のための基礎教育と技能訓練、NFE 訓練者の訓練、小学校のリハビリ、小学校教師の訓練とカリキュラム開発、教育管理者の訓練、教師教育キャパシティビルディング
アイルランド	成人識字能力とその教材の開発、NFE 基礎教育センター NFE のためのラジオ台本、地域社会技能訓練センター、初等教育キャパシティビルディングと学校管理者の訓練、小学校の建設/改善とリハビリ、学校備品、小学校教師訓練、学校植林、テキストブック
アメリカ	経費支援、教育教材、学校管理、REB キャパシティビルディング (プランナー、カリキュラム開発者、教師訓練者、教育マネージャー)、校長訓練、地域社会関係、学校委員会の訓練
国連開発計画	新小学校カリキュラムのモニタリングと評価、小学校 4 校の内装備品
国連人口活動基金	教師教育参考書及び教育教材
国連児童基金	基礎及び非公式教育

(8) Gambella 州

DfID	初等教育の全般的支援
ドイツ	成人のための非公式教育 (NFE) 基礎教育と技能訓練、NFE 訓練者の訓練、小学校のリハビリ、小学校教師の訓練とカリキュラム開発、教育マネージャーの訓練
スウェーデン	カリキュラム開発、在勤教師の訓練、テキストブックとテキストブック作成の技術協力
国連開発計画	新小学校カリキュラムのモニタリングと評価
国連児童基金	教育メディア、カリキュラム、教授教材の開発、教師訓練

(9) Harari 州

スウェーデン	カリキュラム開発、在勤教師の訓練、テキストブックとテキストブック作成の技術協力
国連開発計画	新小学校カリキュラムのモニタリングと評価
国連児童基金	教育メディア、カリキュラム、教授教材の開発、教師訓練

(10) 首都 Addis Abeba

ドイツ	TVET の教師訓練、成人の NFE 基礎教育と技能訓練、NFE 訓練者の訓練、小学校のリハビリ
スウェーデン	カリキュラム開発、在勤教師の訓練、テキストブックとテキストブック作成の技術協力
国連開発計画	新小学校カリキュラムのモニタリングと評価
国連教育文化科学機関 :	耳の不自由な人の学校の建設と教授教材、特別教育
国連人口活動基金 :	POP/FLE 統合支援
国連児童基金	教育メディア、カリキュラム、教授教材の開発、教師訓練

(11) Dire Dawa 州

スウェーデン	カリキュラム開発、在勤教師の訓練、テキストブックとテキストブック作成の技術協力
国連開発計画	新小学校カリキュラムのモニタリングと評価
国連児童基金	教育メディア、カリキュラム、教授教材の開発、教師訓練

(12) 教育省

ドイツ	非公式教育(NFE)、成人のための基礎教育と技能訓練、NFE
-----	--------------------------------

	訓練者の訓練
日本	教育メディア庁(EMA)キャパシティビルディング、技術、 職業教育訓練 (TVET)
ノルウェー	ターシャリーエデュケーション (Awasa 農業専門学校、 Mekelle University College)
スウェーデン	初等カリキュラム開発キャパシティビルディング、EMPDA マネージメント訓練、在勤小学校教師訓練、林業教育
国連人口活動基金：	カリキュラム用の人口資料

(13) エチオピア国

アフリカ開発銀行	小学校の建設、改善、リハビリ、備品、機材
ヨーロッパ 連合	教育関係機関のための教授教材
フィンランド	特別教師訓練と教材開発
ドイツ	非公式教育(NFE)、成人のための基礎教育と技能訓練、 NFE 訓練者の訓練
第二世銀(IDA)	小学校の建設、ターシャリーエデュケーション施設の拡充 教育教材、備品、地域社会関係
アメリカ	経費支援、基礎教育システム改善のための教育政策改革に 対する支援、キャパシティビルディング

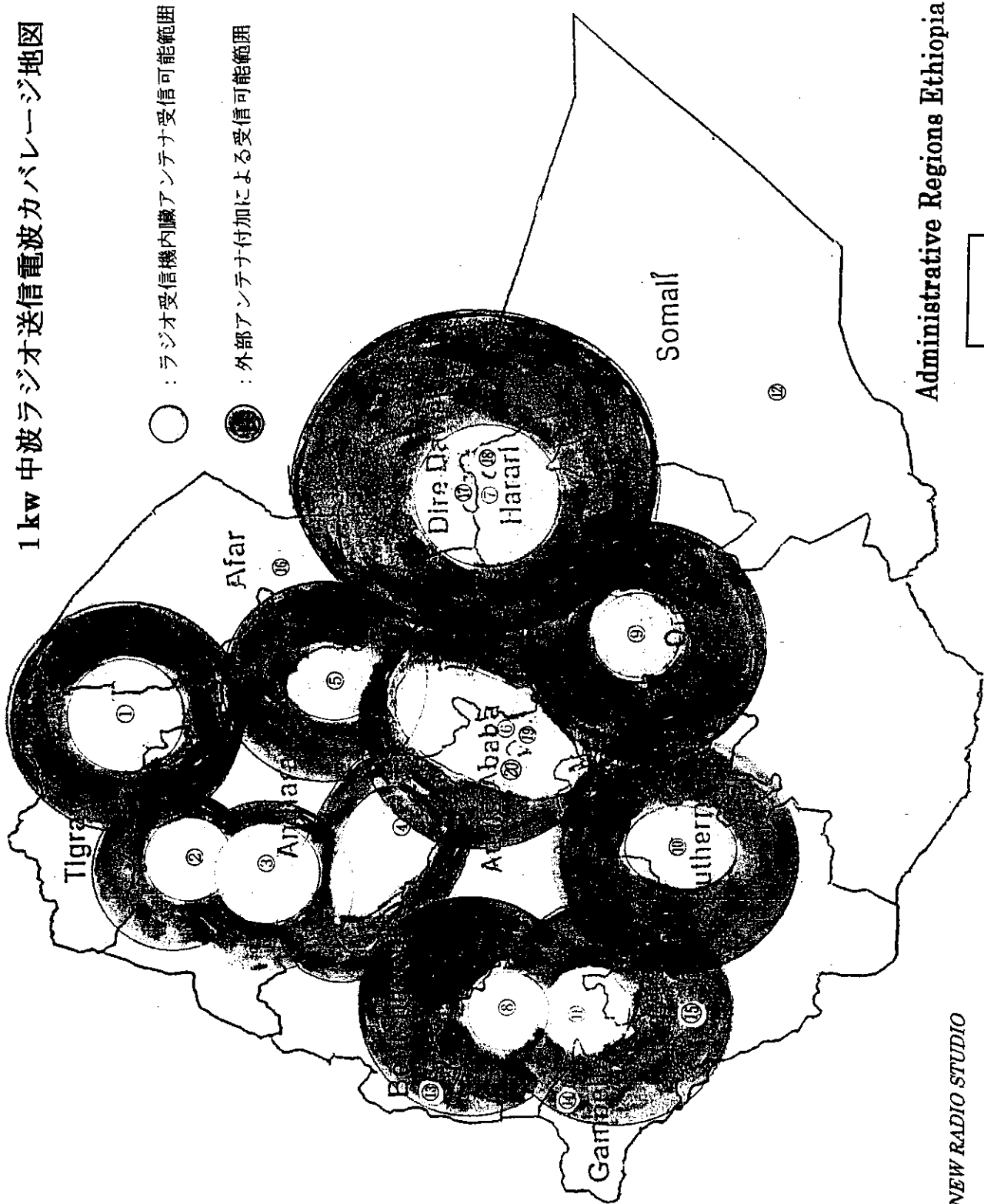
添付資料3 プロジェクトの上位目標 (正式要請書 Annex2 翻訳)

	5年後の目標	2001年に期待される成果
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校向け高品質教育番組、その他の教材の制作、普及、標準化による英語教育の質的改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>168校の小中学校向け英語教育ラジオ番組を制作する。同じ科目、同じ水準の224番組が小中学校の英語教育改善のために放送される。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>2001年には遠隔教師教育プログラムによって全ての訓練を受けていないfirst cycleの小中学校教師の訓練によって教授力の質の標準的に向上させることで地方を支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>8000人の訓練を受けていないfirst cycleの小中学校教師を資格水準に引き上げる。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>遠隔教師教育プログラムによる最新の教師再教育コースの提供により小中学校教師の質を標準に向上させることで地方を支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>模範的新統合カリキュラムの最新版と小中学校教師再教育訓練パッケージを制作し実施される。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>青年、婦人、サービスの行き届いていない地域のための模範マルチメディア教育パッケージの制作と普及による非公式教育の促進と増強</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>8模範非公式マルチメディアパッケージ(ラジオ番組6、ドキュメンタリーフィルム2)が成人、若い婦人、サービスの行き届いていない地域の人々のために制作され配布(普及)される。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育ラジオ・テレビ放送、印刷物メディア、その他の放送以外の電子メディアを使う支援の提供による遠隔配達システムによる中学校教育の改善と向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>32遠隔中学教育コースとそれに伴う312ラジオ番組が開発され、制作され、配布普及される。</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>遠隔教育生登録の増加による学校外の成人、青年、婦人、その他人々のための中学教育へのアクセスの増加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遠隔中学教育生の登録は6500から12650に増加する(94.6%の増加率)。</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>放送、印刷メディア、その他の放送以外の電子メディアを通して主要なカリキュラム領域で全ての学校の教育教材の標準化による中等教育の質的改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4教科(Amharic、英語、歴史、地理)の320中学校教育ラジオ番組が制作され放送される。</li> <li>4教科(生物、化学、物理、数学)の320中学校教育テレビ番組が制作され、240番組が放送される。</li> <li>Fourth 9th grade 生物と化学教育ラジオ番組が放送され、非放送の eighty 9 to 12 の生物 eighty 化学、eighty 英語番組が制作され、1992/2000 に配布普及する。</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加の奨励による少女の教育のアクセス改善。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>10本のドキュメンタリービデオ番組を制作し、多くの親達や地域社会の間で中等教育のために少女に参加を奨励する。これは少女の教育参加を促す。</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校で地域社会の巻き込みの増加助長のための教育メディアパッケージの制作と普及による教育システムの非効率率を減少する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校で地域社会の巻き込み助長するところの8 POP-FLE テレビ番組が制作され普及される</li> </ul>
10		



11	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育メディアパッケージを通して管理訓練を提供し教育管理キャパシティを改善する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マルチメディアをベースにした5つの教育管理訓練パッケージが初等レベルの教育管理キャパシティの改善を目的として制作され普及される</li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育メディア調査研究及び評価の強化と改善のために教育メディア調査研究、モニタリング、評価キャパシティを強化する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メディア調査研究及び評価のキャパシティ改善と強化のため中央及び地方からの94人の教育メディア調査研究員及び評価員が訓練される</li> </ul>
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育メディア番組及びコースの改善と標準化のために教育メディア調査研究、モニタリング、評価を実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4つのメディア調査研究、4つのモニタリング評価が教育メディア番組及びコースの改善と標準化のために実施される</li> </ul>
14	<ul style="list-style-type: none"> <li>訓練によって地方及び中央の教育メディアコース番組及び管理の専門キャパシティを向上する <ul style="list-style-type: none"> <li>- コーライター 72人</li> <li>- ディレクター 36人</li> <li>- スクリプトライター 48人</li> <li>- テレビプロデューサー 10人</li> <li>- ラジオプロデューサー 100人</li> <li>- マルチメディアライブラリアン 20人</li> <li>- 教育メディア管理者及び指導者 60人</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コーライター 72人、ディレクター 36人、スクリプトライター 48人、テレビプロデューサー 10人、ラジオプロデューサー 100人、マルチメディアライブラリアン 20人、教育メディア管理者及び指導者 60人が地方及び中央の教育メディアコース、番組、管理の専門キャパシティ向上のために訓練される</li> </ul>
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方及び中央の設備機材の選択、据付、保守のためのテクニカルキャパシティを向上する <ul style="list-style-type: none"> <li>電子技術者 36人</li> <li>制作技術者 92人</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子技術者 36人と番組制作技術者 92人を訓練してテクニカルキャパシティを向上させる</li> </ul>
16	<ul style="list-style-type: none"> <li>電界強度測定結果及び地方教育事務所の要求に基づき送信機及び録音スタジオ機材を設置して地方を支援する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方4ヶ所に送信機、9ヶ所に録音スタジオ機材が設置される</li> </ul>
17	<ul style="list-style-type: none"> <li>革新的教育メディア教授法及び技術を紹介する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>革新的教授及び技術を研究するスタジオ2室、地上放送及び衛星放送システム、コスト分析が実施される</li> </ul>
18	<ul style="list-style-type: none"> <li>高品質番組の制作、訓練、調査研究、番組利用のために必要な参考教材及び機材を持つ教育マルチメディアライブラリーのキャパシティを強化する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要で、最新の書物、オーディオビデオフィットやその他の教材と機材付きの教育マルチメディアライブラリーが準備され供給される</li> </ul>
18	<ul style="list-style-type: none"> <li>設備機材見学旅行や長短期の海外における訓練により、教育番組プロデューサー、コースディレクター、調査研究員、技術者、訓練員、管理者能力を最新のものにし、改善する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>30人の勉強旅行及び18人の長短期海外研修が促進される</li> </ul>

1kw 中波ラジオ送信電波カバレッジ地図



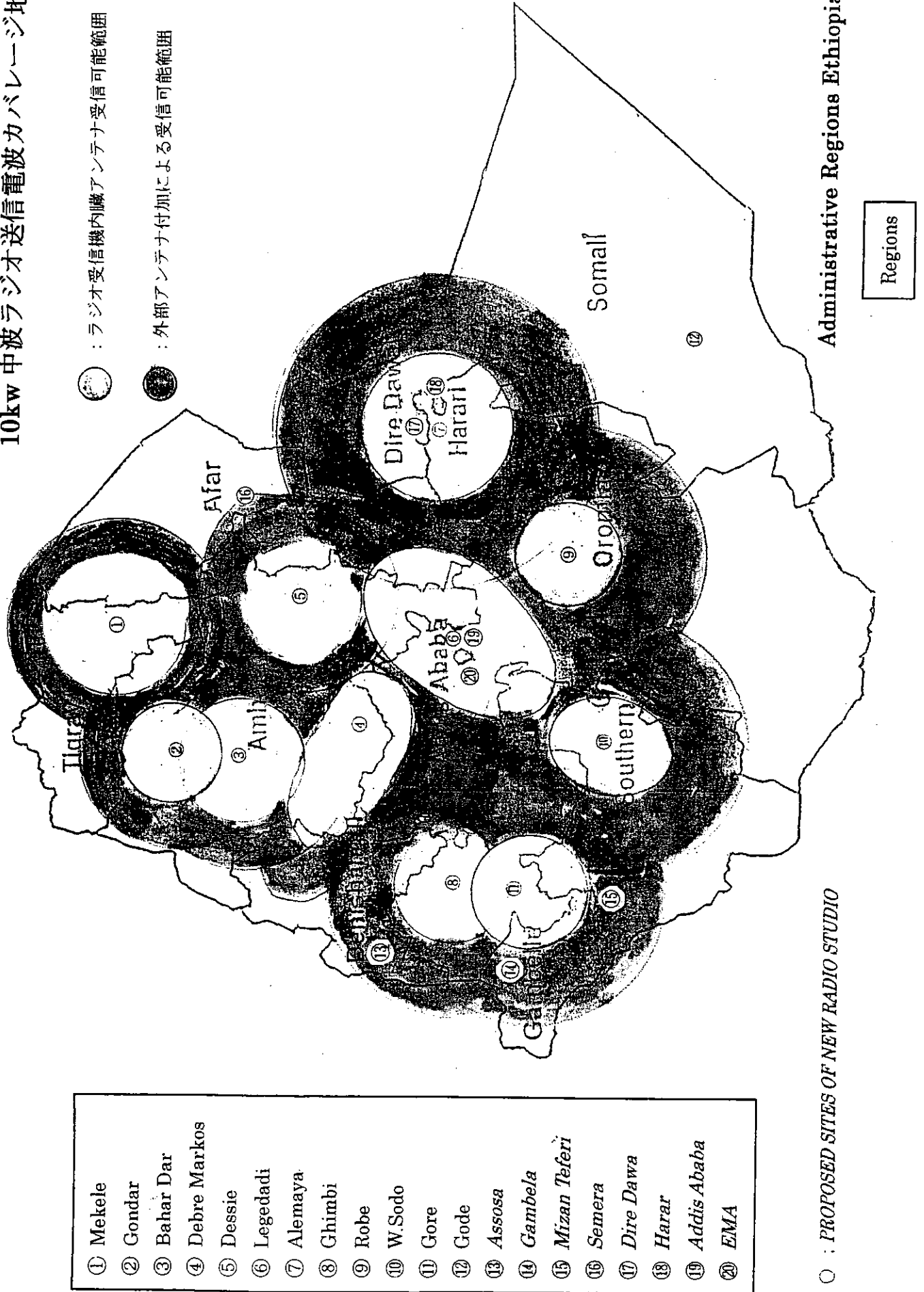
- ① Mekele
- ② Gondar
- ③ Bahar Dar
- ④ Debre Markos
- ⑤ Dessie
- ⑥ Legedadi
- ⑦ Alemaya
- ⑧ Ghimbi
- ⑨ Robe
- ⑩ W.Sodo
- ⑪ Gore
- ⑫ Gode
- ⑬ Assosa
- ⑭ Gambela
- ⑮ Mizan Teferi
- ⑯ Semera
- ⑰ Dire Dawa
- ⑱ Harar
- ⑲ Addis Ababa
- ⑳ EMA

Administrative Regions Ethiopia

Regions

○ : PROPOSED SITES OF NEW RADIO STUDIO

10kw 中波ラジオ送信電波カバレッジ地図



## **SYSTEM DESIGN FOR JAPAN GRANT AID PROJECT**

This is to design the systems of radio studios, transmission studios and television studios in order to facilitate the number and kind of equipment to be specified and as well make the necessary adjustments.

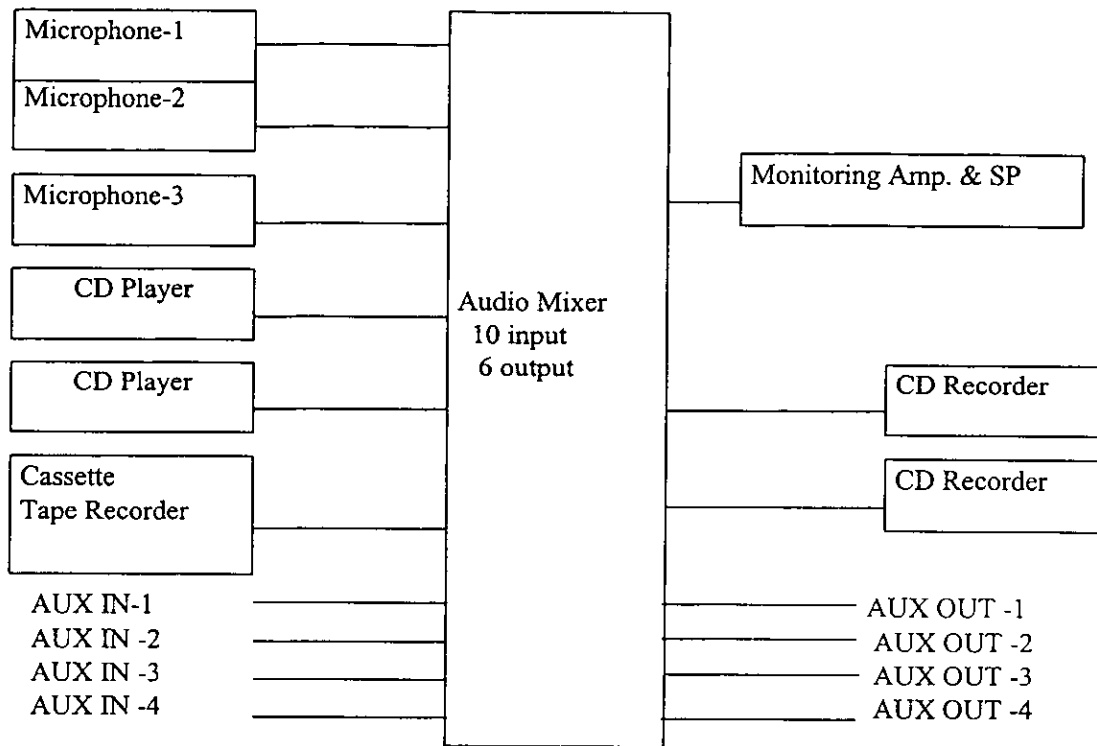
### **1- RADIO RECORDING STUDIOS**

#### **CD Recorders and Players**

The recording studios and transmission studios use reel tapes. The cost of one 7" reel-tape cost about 160 birr which can accommodate two programmes of 15 minutes each. EMA searches for cost-effective technology is to replace reel-tapes with CDs, the cost of 1 CD is about 8 birr and it accommodates a minimum of 4 programmes of 15 minutes each, which could have been on two 7" reel - tapes. Initial cost of replacing the radio studio and transmission studio tape recorders and players with CD recorders and CD players is costly. However, the long range benefits that can be reaped is incredible. If we install CD players and CD recorders for each recording and transmission studio the system design of equipment is indicated as follows.

## Audio Recording Studio System Standard

For each studio



### CD Duplication System

One(1) set of Duplication System  
1 master : 11 slaves  
with reserves(1 master & 2 slaves  
for each site

### CD Editing System

One(1) set of CD Editing System  
For each site

For all the recording and transmission studios for the existing and the for the one to be installed the number of CD recorders and CD players required are shown as follows.

**Numbers of CD Player/Recorder to be requested**

Region	Recording Studio		Transmission Studio		
	CD Recorder	CD Player	CD Player		
				1kw	10kw
<b>Oromia</b>					
<i>Sendafa</i>	2	2	<i>Legedadi</i>	3	3
<i>Goba</i>	2	2	<i>Robe</i>	3	3
<i>Ghimbi</i>	2	2	<i>Ghimbi</i>	3	3
<i>Gore</i>	2	2	<i>Gore</i>	3	3
<i>Alemaya</i>	2	2	<i>Alemaya</i>	3	3
<b>Amhara</b>					
<i>Dese</i>	2	2	<i>Dese</i>	3	3
<i>Gondar</i>	2	2	<i>Gondar</i>	3	3
<i>Debre Markos</i>	2	2	<i>Debre Markos</i>	3	3
<i>Bahar Dar</i>	2	2	<i>Bahar Dar</i>	3	3
<b>SNNP</b>					
<i>Sodo</i>	2	2	<i>Sodo</i>	3	3
<i>Mizan Teferi</i>	2	2			
<b>Tigray</b>					
<i>Makale</i>	2	2	<i>Makale</i>	3	3
<b>Somale</b>					
<i>Gode</i>	2	2	<i>Gode</i>	3	3
<b>Afar</b>					
<i>Semera</i>	2	2	<i>Semera</i>	3	3
<b>Gambella</b>					
<i>Gambella</i>	2	2	<i>Gambella</i>	3	3
<b>Harari</b>					
<i>Harari</i>	2	2	<i>Harari</i>	3	
<b>Benishanglu</b>					
<i>Asosa</i>	2	2	<i>Asosa</i>	3	3
<b>Dire Dawa</b>					
<i>Dire Dawa</i>	2	2	<i>Dire Dawa</i>	3	
<b>Addis Ababa</b>	4	4	<i>Addis Ababa</i>	3	
<b>EMA</b>	4	4			
<b>TOTAL</b>	44	44		54	45

Note: Active Studio & Transmitter Sites tu11 sites + 1 site (Gode, requested only CD)

Requested Studio sites 8 sites (10 complete studio system)

Planning Sites (additional request) ( 3 sites (3 complete studio system)

The new studios have be also equipped with other component equipment that go with the CD recorders and CD players.

### Numbers of Studio Equipment to be requested except CD

Region	Recording Studio				
	Audio Mixer	Monitoring Amp. & SP	Cassette	CD Editing	CD Duplication.
			T-Recorder	System	System
<b>Oromia</b>					
<i>Sendafa</i>				1	1
<i>Goba</i>				1	1
<i>Ghimbi</i>				1	1
Gore	1	1	1	1	1
Alemaya	1	1	1	1	1
<b>Amhara</b>					
<i>Dese</i>				1	1
<i>Gondar</i>				1	1
<i>Debre Markos</i>				1	1
Bahar Dar	1	1	1	1	1
<b>SNNP</b>					
<i>Sodo</i>				1	1
Mizan Teferi	1	1	1	1	1
<b>Tigray</b>					
<i>Makale</i>				1	1
<b>Somale</b>					
<i>Gode</i>				1	1
<b>Afar</b>					
Semera	1	1	1	1	1
<b>Gambella</b>					
Gambella	1	1	1	1	1
<b>Harari</b>					
Harari	1	1	1	1	1
<b>Benishanglu</b>					
Asosa	1	1	1	1	1
<b>Dire Dawa</b>					
Dire Dawa	1	1	1	1	1
Addis Ababa	2	2	2	1	1
EMA	2	2	2	1	1
<b>TOTAL</b>	<b>13</b>	<b>13</b>	<b>13</b>	<b>20</b>	<b>20</b>

Note: Active Studio & Transmitter Sites Ac11 sites + 1 site (Gode, requested only CD)

Requested Studio sites 8 sites (10 complete studio system)

Planning Sites (additional request) ( 3 sites (3 complete studio system)

The new radio studios have to be equipped with other equipment other than CD recorders CD players. The type of equipment are indicated in the following table.

**Numbers of Studio Equipment to be requested except CD**

Region	On-air Transmission Studio		
	Audio Mixer	Monitoring Amp. & SP	Cassette Tape Recorder
<b>Oromia</b> <i>Legedadi</i> <i>Robe</i> <i>Ghimbi</i> <i>Gore</i> <i>Alemaya</i>			
<b>Amhara</b> <i>Dese</i> <i>Gondar</i> <i>DebreMarkos</i> <i>Bahar Dar</i>			
<b>SNNP</b> <i>Sodo</i>			
<b>Tigray</b> <i>Makale</i>			
<b>Somale</b> <i>Gode</i>			
<b>Afar</b> Semera	2	2	2
<b>Gambella</b> Gambella	2	2	2
<b>Harari</b> Harari	1	1	1
<b>Benishanglu</b> Asosa	2	2	2
<b>Dire Dawa</b> Dire Dawa	1	1	1
<b>Addis Ababa</b> Addis Ababa	1	1	1
<b>TOTAL</b>	9	9	9

Note: *Active Studio & Transmitter Sites Ac11 sites + 1 site (Gode)*

Planning Sites (additional request) ( 6 sites (9 complete on-air studio system)

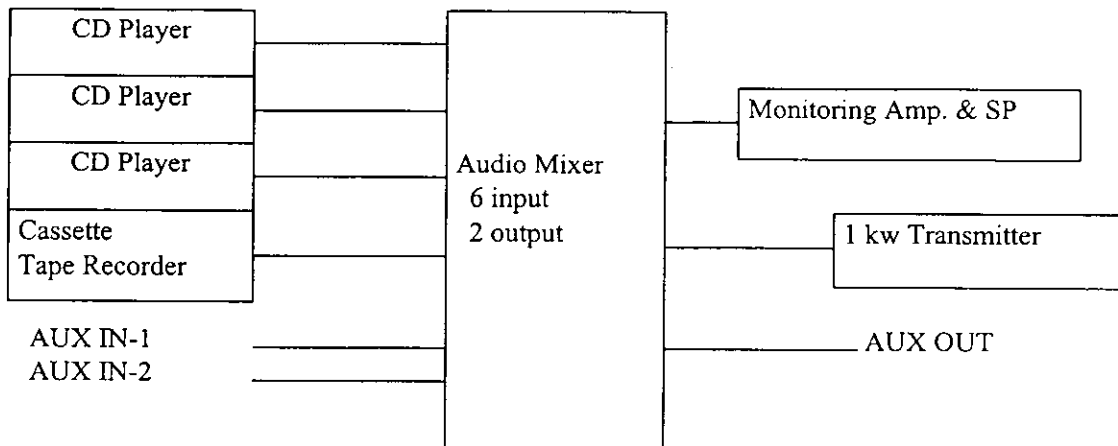


## TRANSMISSION STUDIOS

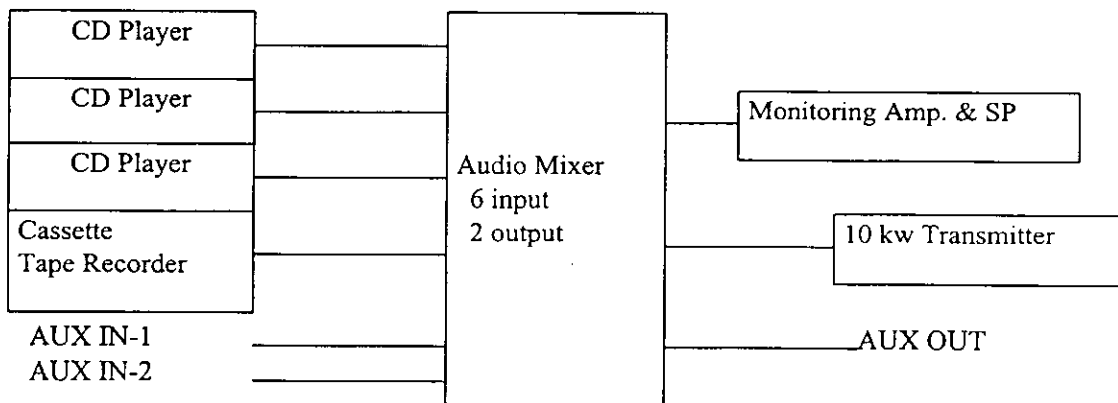
The 1kw and 10kw transmission studio system will appear as shown below when equipped with the new electronic equipment.

### Radio On-air Transmission Studio System Standard

#### ON-AIR STUDIO-1



#### ON-AIR STUDIO-2



However, each recording studio should have standby for most of the essential part as back ups.

For each recording studio, one cassette recorder should be kept as a standby.

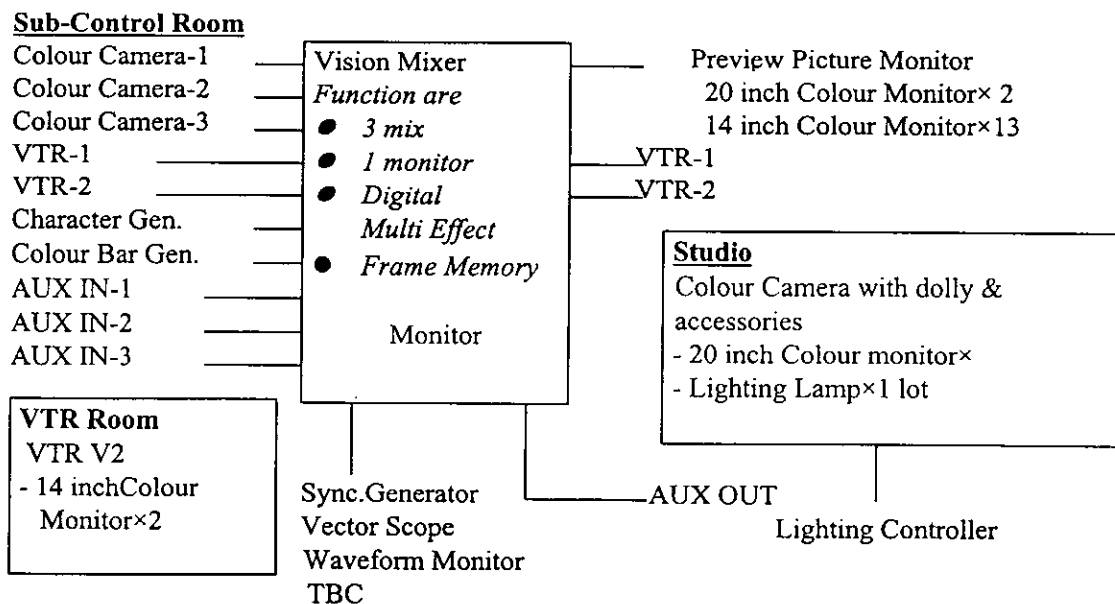
For each recording studio, 3000 recordable CDs for recording and dubbing different kinds of educational programmes are required.

For each recording 2 CD recorders and 1 CD player should be kept as standby.

## TELEVISION

EMA's television studio equipment are worn-out and need replacement and Tigray has indicated the need to have a television studio in the five years plan. The system design for television studio is indicated below.

### TV Programme Production Studio System Standard Vision section

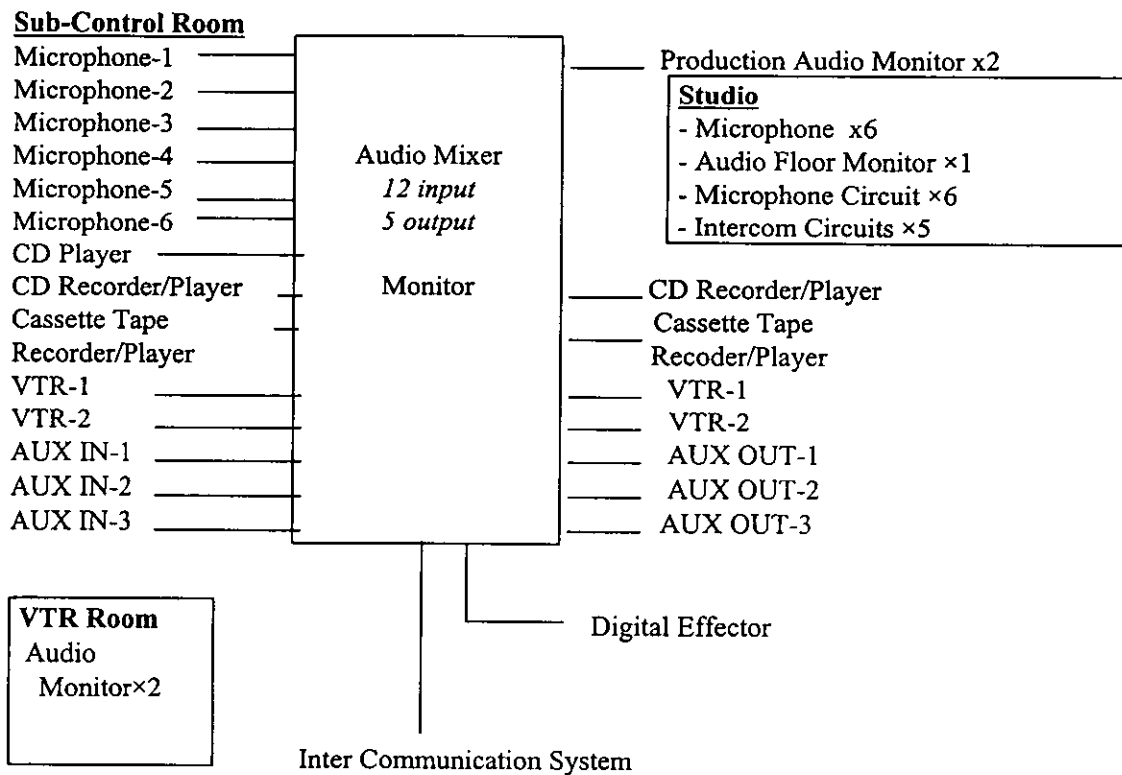


#### Equipment Composition

Vision Production Mixer	×1	Lighting Controller	x1lot
Colour TV Studio Camera Chain	x3	Lighting House & Lamp	x1lot
VTR	x2	Operation Desk	x1
Character Generator	x1	Cables with Connectors	x1lot
Colour Bar Generator	x1	Installation materials	x lot
Sync. Generator	x1		
Vector Scope	x1		
Waveform Monitor	x1		

TBC	x1
Video Distribution Amp.	x1lot
20 inch Colour Picture Monitor	x4
14 inch Colour Picture Monitor	x15
Monitor Shelf	x1
System Rack	x1

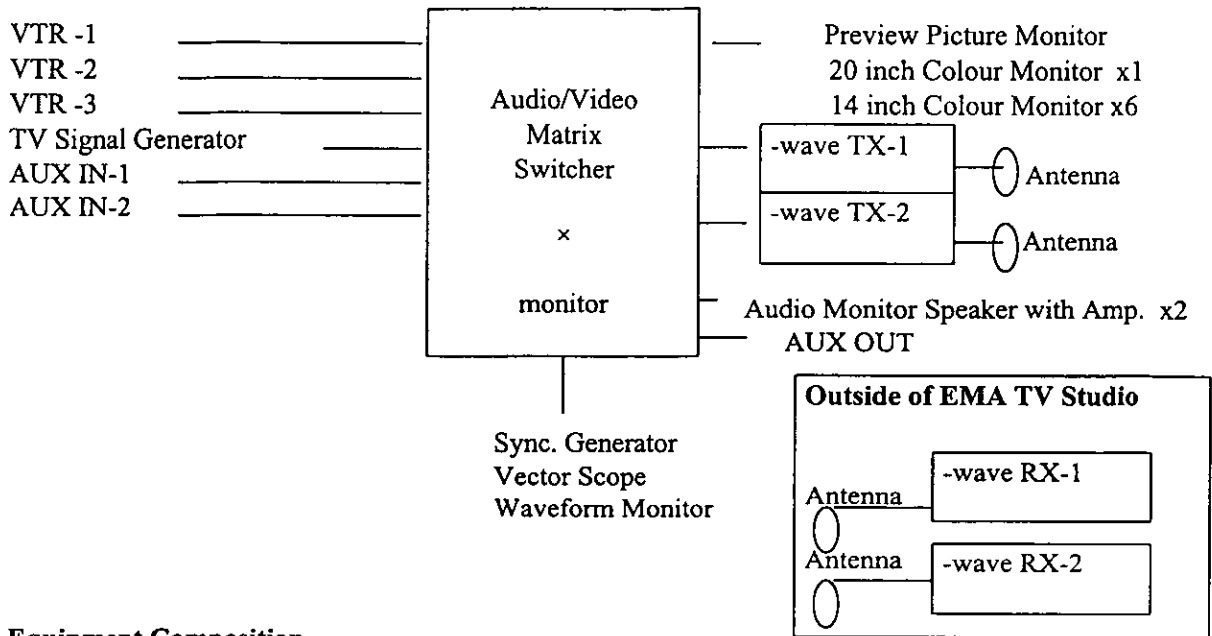
### TV Programme Production Studio System Standard Sound section



#### Equipment Composition

Audio Mixer	x1	Audio distribution Amp.	x1 lot
Microphone	x6	Digital Effector	x1
CD Player	x1	Inter Communication System Unit	x1
CD Recorder/Player	x1	Tally Control Unit	x1
Cassette Tape Recorder/Player	x1	On-Air Light Control Unit	x1
Audio Monitor Amp.	x3	System Rack	x1
Audio Monitor Speaker	x3	Operation Desk	x1
Audio Monitor Speaker with Amp	x2	Cables with connectors	x1 lot
		Installation Materials	x1 lot

## Master Control Room System Standard

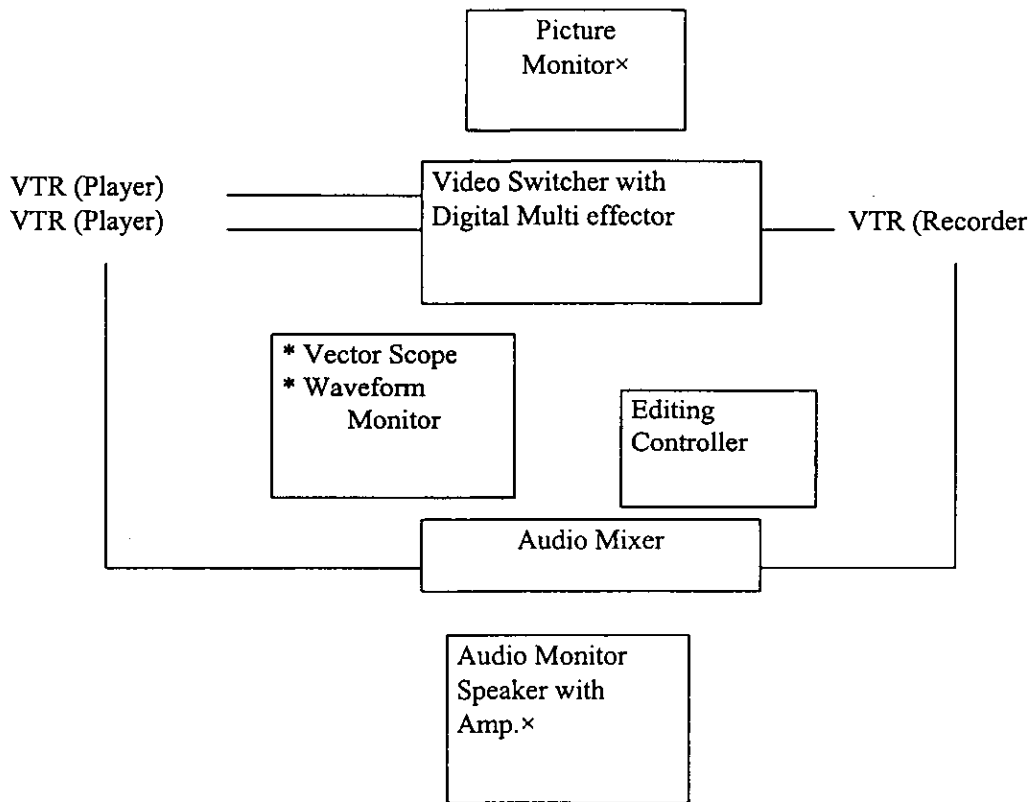


### Equipment Composition

Audio/Video Matrix Switcher	x1	System Rack	x1
Monitor Select Switch	x1	Monitor Shelf	x1
VTR	x1		
TV Signal Generator	x1		
Sync. Generator	x1		
Vector Scope	x1		
Video Distribution Amplifier	x1 lot		
Audio Distribution Amplifier	x1 lot		
Waveform Monitor	x1		
20 inch Colour Monitor	x1		
14 inch Colour Monitor	x1		
b inch Colour Monitor	x3		
Audio Monitor Speaker with Amp	x2		
Microwave System	x2		

## Video Tape Editing System

### I- A/B Roll Editing System

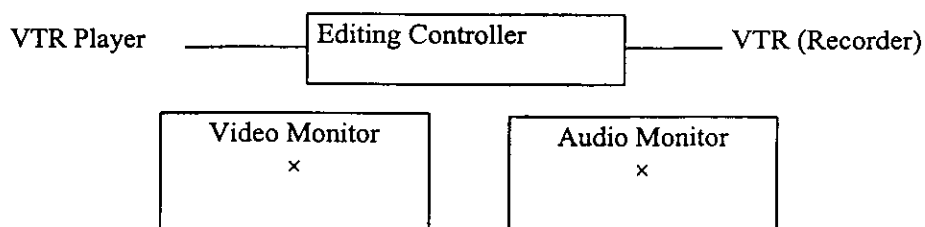


### Equipment Composition

VTR (Player)	x2
VTR (Recorder)	x1
Video Switcher with multi digital effector	x1
Vector Scope	x1
Waveform Monitor	x1
TBC remote controller	x3
Editing Controller	x1
Audio Mixer	x1
14 inch colour Monitor	x4
Audio Monitor Speaker with Amplifier.	x2
System Rack	x1
Operation Desk	x1

## Video Tape Editing System

### II- Tape To Tape Editing System



#### Equipment Composition

VTR (Player)	x1
VTR (Recorder)	x1
Editing Controller	x1
14 inch colour Monitor	x2
Audio Monitor Speaker with Amplifier	x2
Operation Desk	x1

III Non-Linear-Editing system (See p. 13)

IV- VHS to VHS Duplicating System ( See p.14)

V- Video Tape Logging System (See p.15)

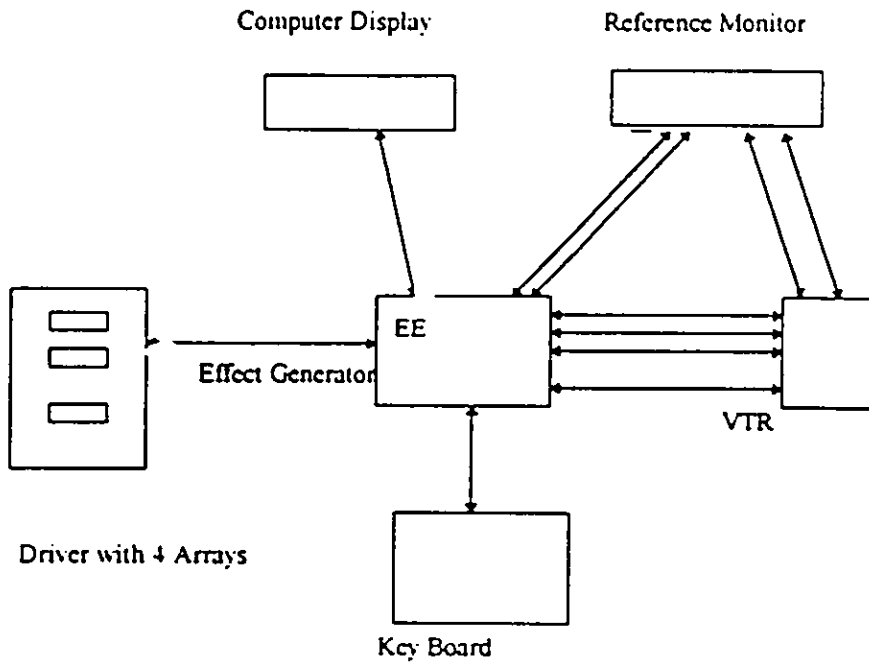
- Beyond the TV studio production, Tigray and EMA will be very much involved in a non-broadcast form of educational dissemination of information on AIDS, environment, health care issues, population issues, etc. for those deprived of educational information through our broadcast coverage. The use of complete mobile van is indispensable to avoid disparity among the population of Ethiopia.

Therefore, two complete mobile vans for Tigray and EMA be added to our request list.

This document includes Additional Studio request for Oromia Region.

Oromia is the largest region with the highest number of population. It has five radio station - Legedadi, Goba, Ghimbi, Gore and Alemaya. The first three stations have studios of their own while the last two stations do not have studios. It will help reduce the congestion created in the studios if Alemaya and Gore too have their own recording studios. Therefore, EMA would like to place a request for this.

## Non Linear Editing System

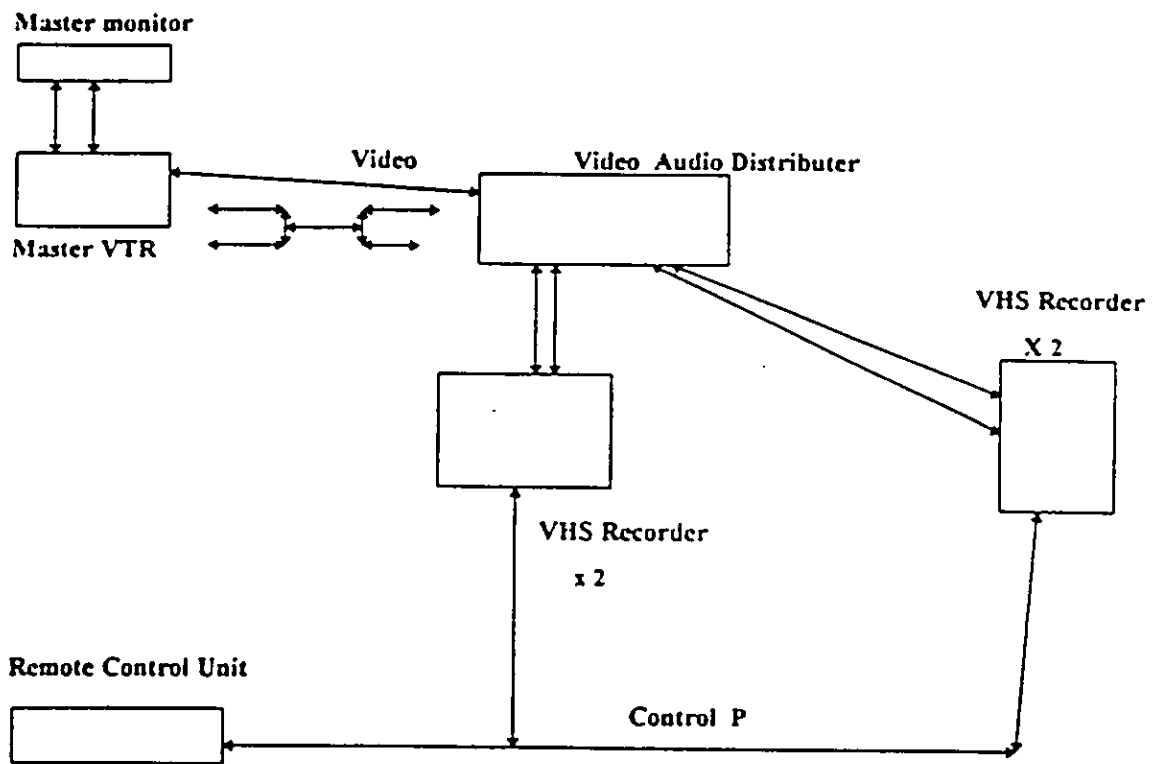


### Equipment Composition

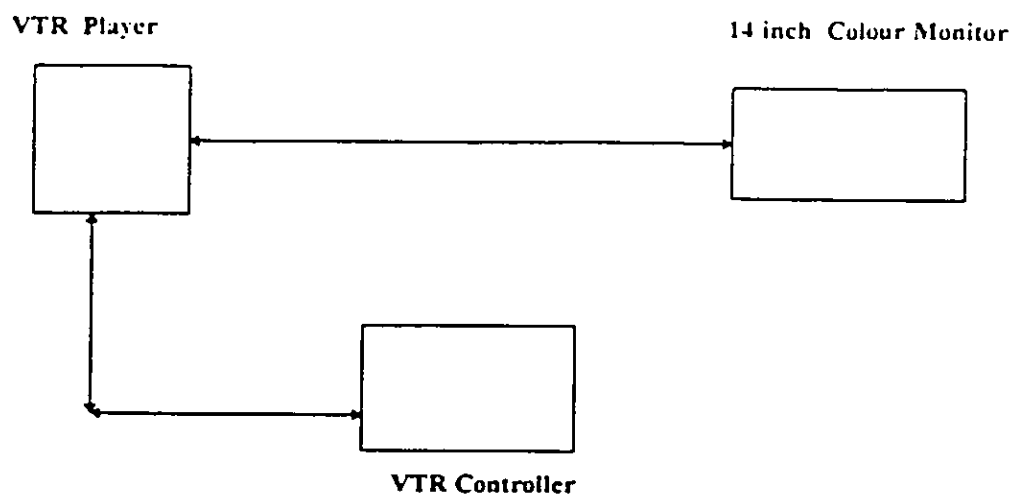
Driver	x 1
Computer display	x 1
Reference Monitor	x 1
VTR	x 1
Key Board	x 1
Effect Generator	x 1



# VHS Hi-Fi Duplicator



## Video Tape Logging System



### Equipment Composition

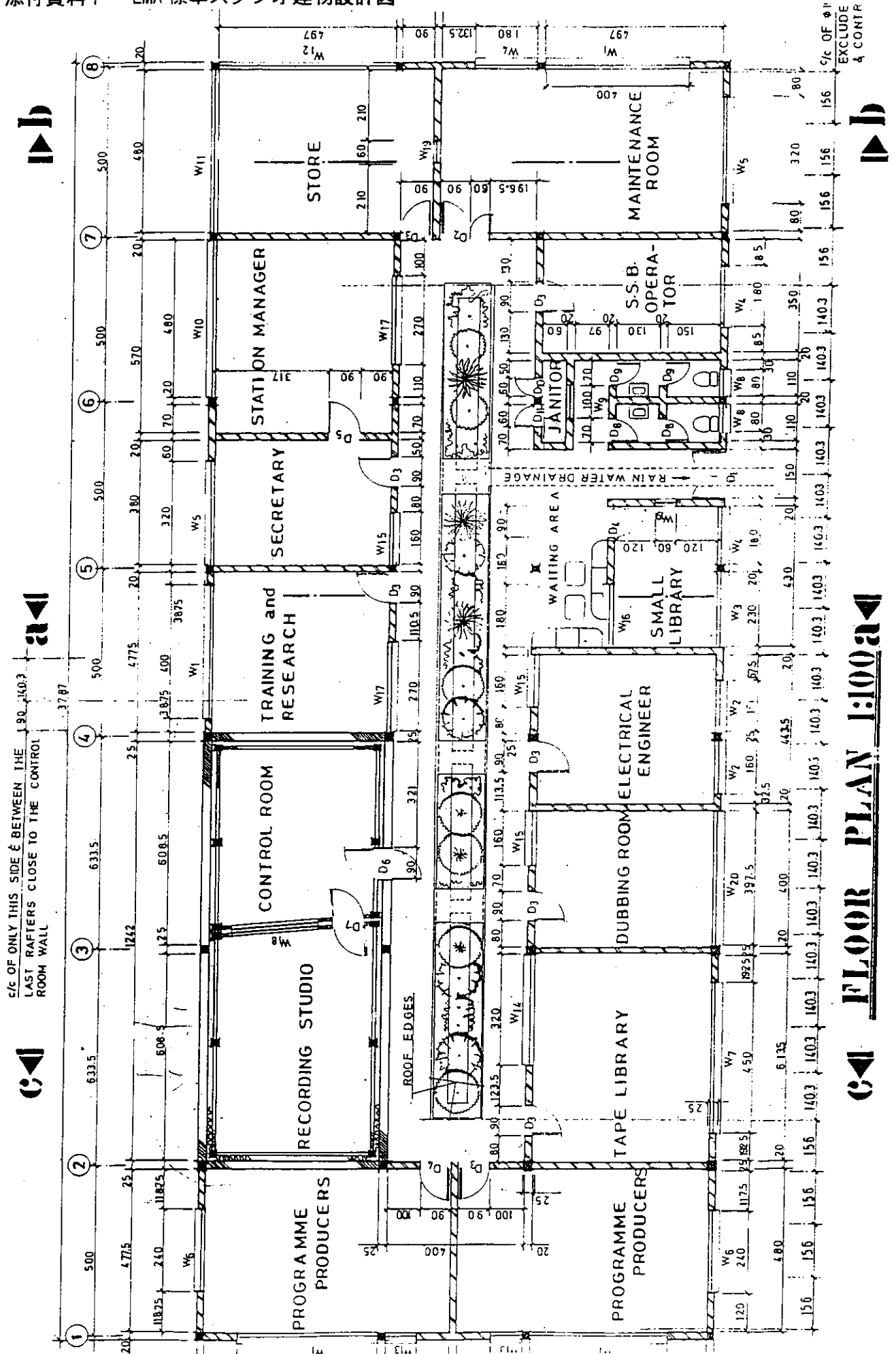
VTR Player X 3 Sets

14 inch Colour Monitor X 3 Sets

VTR Controller X 3 Sets

Revised Cost estimate for consolidation of Television Studio Equipment

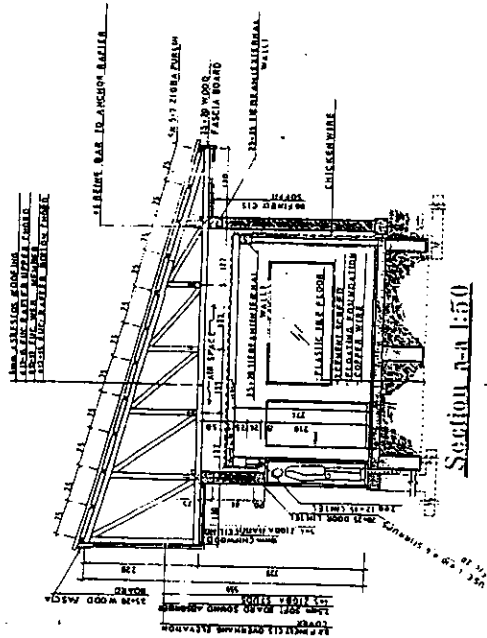
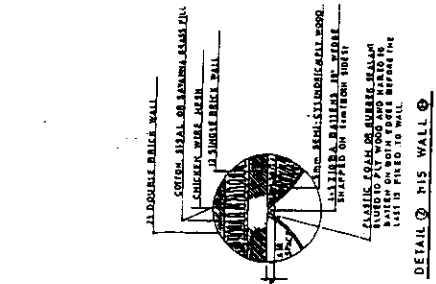
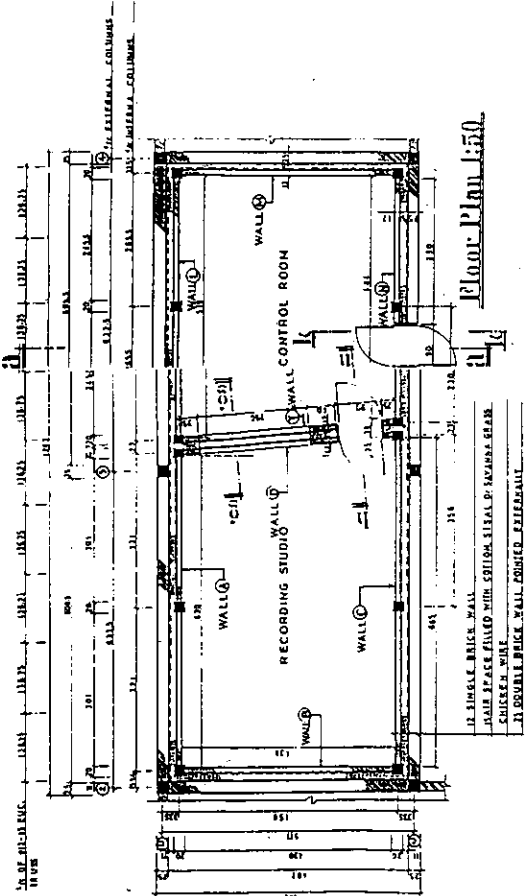
Item No.	Description	Qty.	estimate coast
1	Broadcast program production system consisting of:		
1.1	Digital Studio cameras	3set	US\$375,000
1.2	Digital production switcher	1set	180,000
1.3	Digital Video Recording system	1set	152,000
1.4	Video Monitoring equipment	1set	60,000
1.5	Digital Audio system	1set	100,000
1.6	Digital Video Distribution and Sync system	1set	55,000
1.7	Lighting system	1set	80,000
1.8	Air conditioning system	1set	86,000
1.9	Digital video Test Equipment	1set	40,000
2	Non-Linear Video post-production system	1set	300,000
3	Digital Portable Video Recording system	2set	160,000
4	Master Control System	1set	80,000
5	Digital Microwave link system	2set	150,000
6	Digital Video Distribution system	28set	140,000
7	Video Duplication system	1set	120,000
8	A/B Roll Digital Video Editing system	1set	250,000
9	Off Line Video Editing System	2set	90,000
10	Digital Video Logging System	2set	100,000
11	Digital on-Air Video cart system	1set	150,000
12	Maintainance Equipment	2 set	40,000
13	Recommended spares	1lot	266,800
14	Installation Materials	1lot	213,000
15	FOB		<u>3,147,800</u>
16	Insurance and Fright		<u>346,300</u>
17	CIF Addis Ababa Air Port		<u>3,494,100</u>
18	System Design and Installation		266,800
19	Factory Training and acceptance test		<u>320,000</u>
	<b>Grand Total :-</b>		<b><u>4,120,900</u></b>



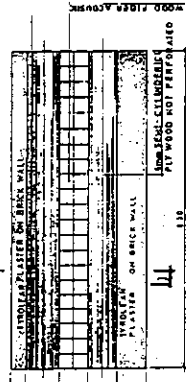
**FLOOR PLAN 1:100**



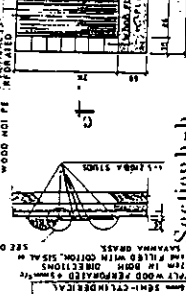
# ACOUSTICAL TREATMENT DETAILS OF RECORDING STUDIO



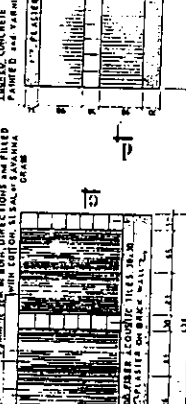
WALL ELEVATION



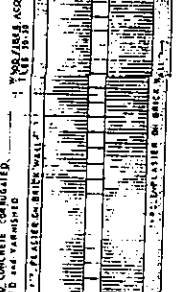
WALL ELEVATION



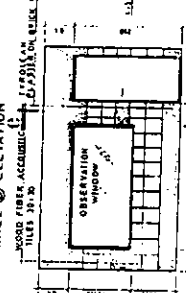
WALL ELEVATION



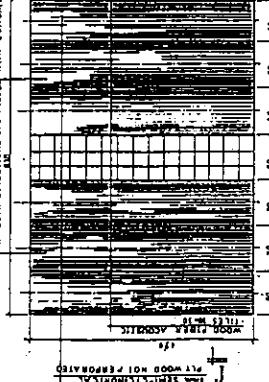
WALL ELEVATION



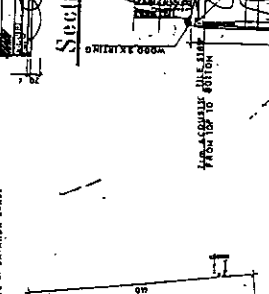
WALL ELEVATION



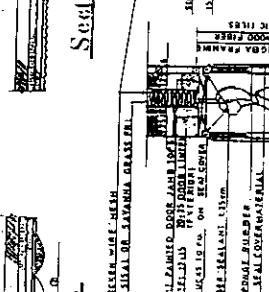
Section d-d



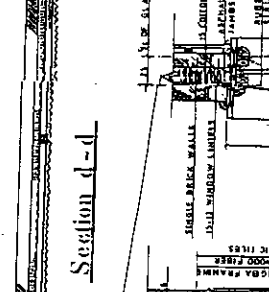
Section e-e



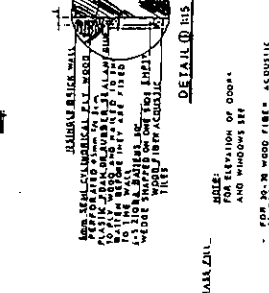
Section f-f



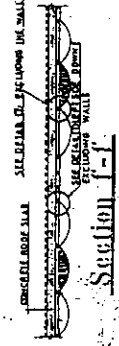
Section g-g



Section h-h



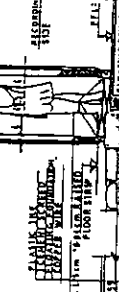
Recording Studio Ceiling Plan



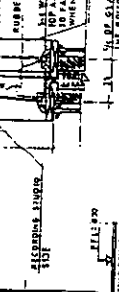
Section i-i



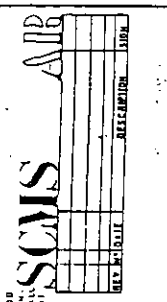
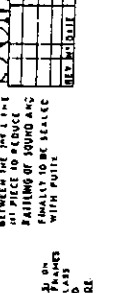
Section j-j



Section k-k



Section l-l



ACOUSTICAL TREATMENT

SECTION g-g 1:20

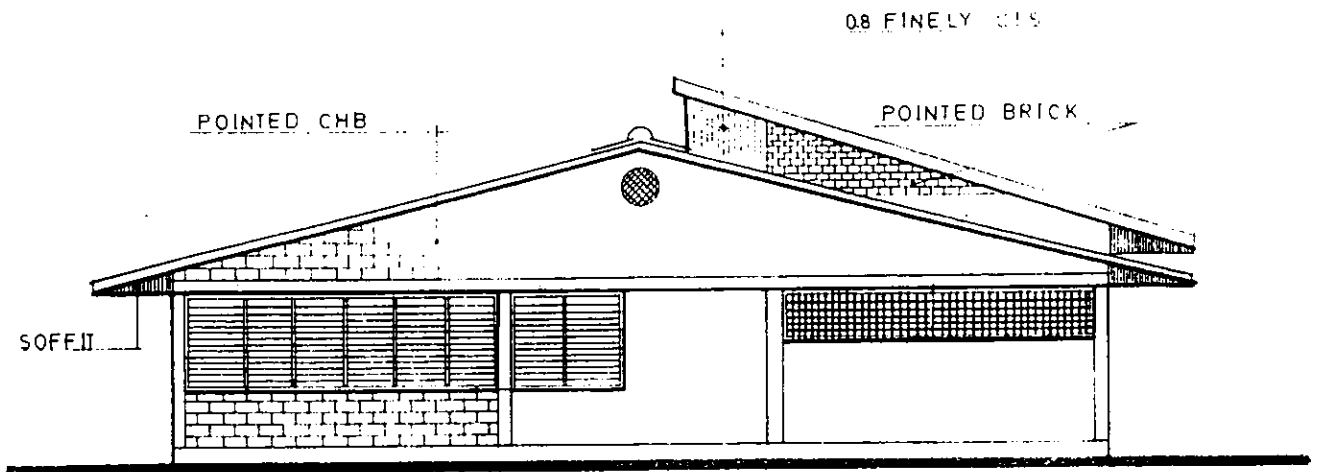
SECTION h-h 1:20

SECTION i-i 1:20

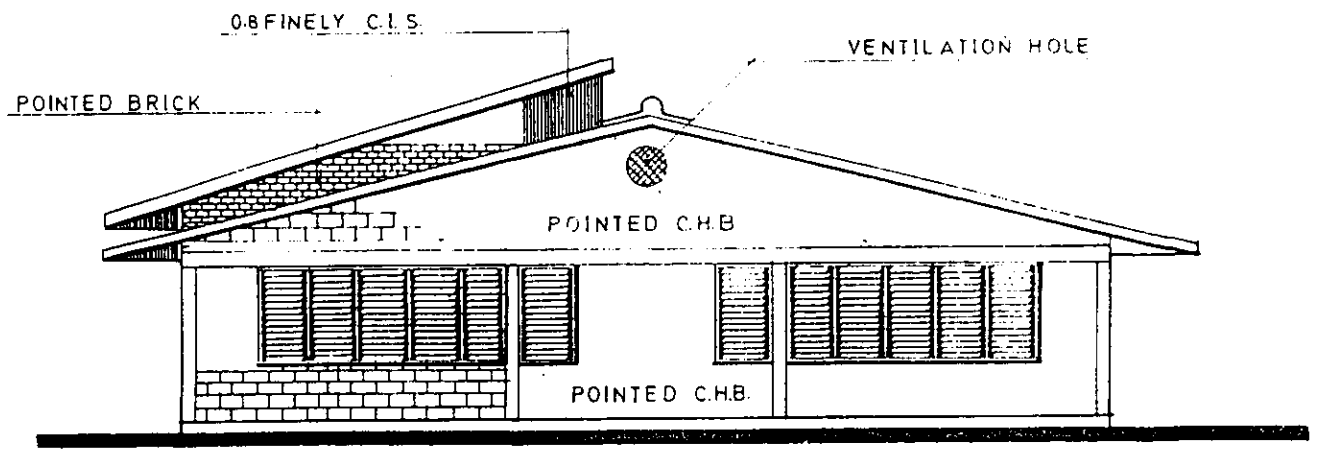
SECTION j-j 1:20

SECTION k-k 1:20

SECTION l-l 1:20



**RIGHT SIDE ELEVATION**



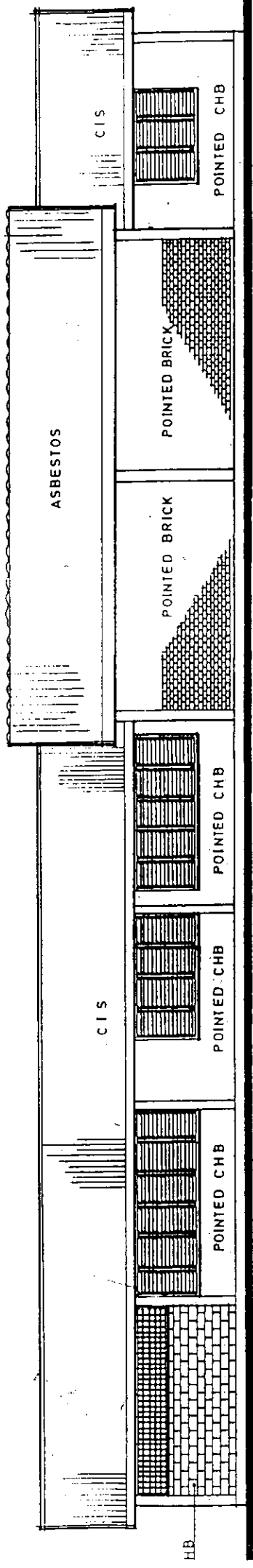
**LEFT SIDE ELEVATION**

08 FINELY C.I.S.



**FRONT ELEVATION**





**REAR ELEVATION 1:100**

## 添付資料 8 小中学校視察結果

### 1. Afar 州 Ewket Chora 小学校 面会者：Mr. Gtrwa Siseshi（校長）

#### 【遠隔教育の実状】

- ・ 媒体：ラジオ
- ・ 保有数：5 台
- ・ 採用科目：英語
- ・ 番組の長さ：20 分
- ・ 聴講方法：番組を実際の放送時間帯に（生放送で）聴講
- ・ 採用例

#### 〔2 年生時間割〕

時間帯	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
7:20-8:00	英語	英語	アムハラ語	英語	英語
8:00-8:40	社会	アファール語	アファール語	理科	アファール語
8:40-9:20	アムハラ語	体育	英語	アムハラ語	芸術
9:20-10:00	芸術	音楽	社会	体育	理科
10:15-10:55	理科	アムハラ語	算数	算数	アムハラ語
10:55-11:35	音楽	理科	理科	社会	算数
11:35-12:15	算数	算数	—	—	アファール語

※網かけ部分（英語）を遠隔教育で補完

月曜日にも同じ英語の番組が放送されるので、英語担当教員はまず自分でその番組を聞き、水曜日の授業に備える。

#### 〔6 年生時間割〕

時間帯	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
7:20-8:00	理科	社会	体育	算数	アファール語
8:00-8:40	アファール語	アムハラ語	アムハラ語	理科	英語
8:40-9:20	英語	英語	社会	体育	社会
9:20-10:00	芸術	アファール語	英語	社会	体育
10:15-10:55	算数	芸術	算数	アムハラ語	芸術
10:55-11:35	アムハラ語	理科	理科	英語	図書
11:35-12:15	音楽	算数	音楽	芸術	音楽

※網かけ部分（英語）を遠隔教育で補完

- ・ 遠隔教育の利点
  - 1) 語学、特に英語ではネイティブスピーカーのアクセントに接することができる。
  - 2) 通常の対面授業と異なり、音楽が盛り込まれていたりして楽しく聴講できる。
  - 3) 教員に対して、どのような教授法が効果的かを示す訓練になる。

#### 【教育の現状】

- ・ 初等教育に使用する言語（アファール州標準）
  - 1～6 年生 アムハラ語、7～8 年生 英語
- ・ 教科書の内容の差異
  - 英語 → 全国共通（同一）テキスト
  - 他の教科 → 州ごとに異なる
- ・ 1) Certificate → 小学校 1～4 年生を教えることのできる資格
  - TTI (Teacher Training Institute) で 1 年間の課程を修了して取得する。
  - 初任給は 305 Birr.
- ・ 2) Diploma → 小学校 5～8 年生を教えることのできる資格
  - TTC (Teacher Training College) で 2 年間の課程を修了して取得する。

初任給は 445 Birr.

【Ewket Chora 小学校の現状】

- ・ 一部制
- ・ 学校カレンダー

9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
---	----	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---

(数字は月を表す。網かけ部分は休暇。5月は最終月のためラジオ番組の放送はない。)

- ・ 教室数 18
- ・ 生徒数 1537人 (男子835人、女子702人)

学 年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	7年生	8年生	合計
男子生数	213	125	70	107	100	77	78	65	835
女子生徒	184	102	81	63	85	77	64	46	702
合 計	397	227	151	170	185	154	142	111	1537

- ・ 教員数 29人 (男性24人、女性5人)

教員資格	人数
Certificate を保有しない教員	3
Certificate を保有する教員	14
Diploma を保有する教員	12
合 計	29

- ・ 昨年の中学校進学者 43人 (全国試験の受験者53名、うち43人が合格)
- ・ 教科書 生徒2人に1冊の割合 (←疑わしい)、学校から生徒への貸与方式。
- ・ 夜間コースの実施  
→ 小学校3~8年生 (学年) 向けに夜間授業を行っている (生徒数300人)。  
授業料は一人あたり10 Birr (300人×10 Birr = 3,000 Birr)
- ・ 学校の収入は基本的にゼロ。夜間コースの授業料ですべての学校運営をまかなっている。  
給与・・・REBから直接教員に支給  
文具・・・REBから学校に現物支給  
学校運営費・・・生徒の親から School Fee のようなものは一切徴収していない。夜間コースの収入の10%を光熱費に充当し、残り90%を夜間コースの教員の給与に当てる。ちなみに、この地域の1世帯あたりの推定月収は約150 Birr (≒19USドル) とのこと。
- ・ 留年が最も多い学年は1年生  
理由 → 校長は、当該地域では就学前教育が皆無であり、初等教育への準備ができていないまま児童が入学してくるため、学業についていけないとしている。
- ・ 入学時年齢  
75%の生徒は7才で入学する。
- ・ 男女間格差  
在校生数、成績に著しい男女間格差はないものの、やはり女子の就学者数のほうが少ない傾向にある。
- ・ 通学距離 (すべて徒歩通学)

徒歩で1km未満	50%
徒歩で1~3 km	30%
徒歩で3~6 km	20%
徒歩で6 km以上	0%
合 計	100%

- ・ 他ドナーの協力

- 1) ESRDF(Ethiopian Social Rehabilitation and Development Fund)<sup>1)</sup>の支援で、1996年に教室が建設された。窓ガラス付きの立派な教室である。旧来型の教室も引き続き使用中。
- 2) British Council から図書（1000冊以上）贈呈を受けている。ただし、書籍には小学校の教員、生徒が利用するには高度すぎる内容のものが多々含まれていた。

## 2. Addis Ababa 州 Balcha 小学校 面会者：Mr. Wubshet Mendege（校長）

### 【遠隔教育の実状】

- ・ 媒体：ラジオ
- ・ 保有数：7台、スピーカー3台
- ・ 採用科目：英語、アムハラ語、理科、社会
- ・ 番組の長さ：20分
- ・ 受信・聴講している番組の送信所：Legedadi 送信所
- ・ 聴講方法：番組を録音し、あとで聴講（録音室とテープ保管棚あり）  
スピーカー3台を使用し、同じ番組を複数学級が同時に聞く  
教員は各番組のガイドブックに従って授業を進める。

### ・ 採用例

#### 〔1年生 A 組の時間割〕

時間帯	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
8:00-8:40	アムハラ語	アムハラ語	英語	算数	算数
8:40-9:20	英語	算数	算数	アムハラ語	理科
9:20-10:00	Aesthetics	英語	アファール語	社会	英語
10:15-10:55	理科	理科	理科	英語	アムハラ語
10:55-11:35	英語	Aesthetics	社会	理科	Aesthetics
11:35-12:15	英語	社会	Aesthetics	Aesthetics	社会

※網かけ部分（英語、アムハラ語、理科）を遠隔教育で補完

Aesthetics は音楽、美術、体育を合わせた教科

- ・ 遠隔教育の利点
  - 1) 均等で質の高い教育を施すことができる。
  - 2) 日頃の授業をきめ細かく運営することができる。
  - 3) 教員にとって貴重なサポートになりうる。
- ・ 遠隔教育の改善点  
番組編成が時々乱れることがある。
- ・ 受信している番組のタイムテーブル 1（Legedadi 送信所 1kw）

時間帯	月曜日	火曜日	水曜日
8:45-9:00		英語（1年生）①	英語（8年生）①
9:05-9:20	英語（2年生）①		
9:45-10:00			英語（5年生）①
13:15-13:30		英語（1年生）②	英語（8年生）②
13:35-13:50	英語（2年生）②		
14:15-14:30			英語（5年生）②

※①と②は同じ番組である（同じ番組を一日に2回放送している）

<sup>1)</sup> エチオピアと世銀が共同出資している団体。教育、保健等の社会開発分野のプロジェクトを実施している。学校建設の場合、10%を学校（住民）が負担し、90%を ESRDF が提供する。

- 受信している番組のタイムテーブル2 (Legedadi 送信所 10kw)

時間帯	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
8:05-8:20		アハラ語 1		英語 6	
8:25-8:40	英語 3		理科 5		理科 2
8:45-9:00					
9:05-9:20		理科 4		英語 3	
9:25-9:40	社会 2			アハラ語 4	
9:45-10:00		アハラ語 2			社会 8
10:20-10:35			アハラ語 6		アハラ語 7
10:40-10:55	アハラ語 5	社会 5		アハラ語 3	
11:00-11:15		理科 6	英語 4		
11:20-11:35	社会 1	アハラ語 8		理科 1	社会 6
11:40-11:55				社会 7	
12:00-12:15					英語 7
12:35-12:50		アハラ語 1		英語 6	
12:55-13:10	英語 3		理科 5		理科 2
13:15-13:30					
13:35-13:50		理科 4		英語 3	
13:55-14:10	社会 2			アハラ語 4	
14:15-14:30		アハラ語 2			社会 8
14:50-15:05			アハラ語 6		アハラ語 7
15:10-15:25	アハラ語 5	社会 5		アハラ語 3	
15:30-15:45		理科 6	英語 4		
15:50-16:05	社会 1	アハラ語 8		理科 1	社会 6
16:10-16:25				社会 7	
16:30-16:45					英語 7

※ 数字が学年を示す。毎日午前と午後と同じ番組が放送される。

空欄も実際には他の番組が放送されており、他の州で聴講している。

【Balcha 小学校の現状】

- 二部制 (午前の部 8:00~12:15、午後の部 12:30~16:45)

午前の部	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	7年生	8年生
午後の部	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	7年生	8年生

※各学年はセメスターごとに午前と午後の部を交替する

- 学校カレンダー

9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
---	----	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---

(数字は月を表す。網かけ部分は休暇。5月は最終月のためラジオ番組の放送はない。)

- 学期構成

2セメスター制 (前期:9月~1月、後期:2月~6月)

- 教室数 38

- 生徒数 5,552人 (男子2520人、女子3,032人)

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	7年生	8年生	合計
男子生数	225	278	248	334	326	342	413	354	2,520
女子生徒	285	315	285	383	388	385	563	428	3,032
合計	510	593	533	717	714	727	976	782	5,552

- 教員数 29人 (男性24人、女性5人)

Grade1~4は学級担任制、Grade5~8は教科担任制である。二部制のため校長、副校長以外は午前か午後のどちらかのシフトのみ教える (セメスターごとに交替)。

教員資格	教員数	
	男性	女性
Certificate を保有しない教員	0	3
Certificate を保有する教員	17	38
Diploma を保有する教員	36	9
合 計	53	50

- ・ 教科書 生徒3人に1冊の割合、学校から生徒への貸与方式。
- ・ 夜間コースの実施（5：30pm～8：10pm）  
→ 小学校2～8年生（学年）向けに夜間授業を行っている（生徒数235人）。  
誰でも入学可能で、生徒の年齢層は幅広いが平均すれば20～25才位。  
授業料は学年によって異なる。Grade2は月3.5Birr、Grade8は月11Birrである。  
教員は昼間の教員と同じで、夜間コースで教えとその分の手当てが支給される。  
この夜間コースでも録音済みのラジオ番組を聞くことがある。
- ・ 学校の収入は基本的にゼロ。  
給与・・・REBから直接教員に支給  
文具・・・REBから学校に現物支給  
学校運営費・・・生徒の親からSchool Feeのようなものは一切徴収していない。  
光熱費、修繕費、備品購入代金はすべてREBが支払っており、学校が現金の管理をすることはない。
- ・ 退学が最も多い学年は1年生  
理由 → 校長は、理由はわからないとしている。  
国の規定では、Grade1からGrade3へは自動的に進級できることになっている。
- ・ 入学時年齢  
原則満7才で入学することになっているが、6才児の入学も認めている。そもそもエチオピアには出生証明書がなく、入学審査は非常に緩い。  
Grade8のクラスで、生徒の年齢を尋ねたところ、最も若い生徒が13才（6才で入学、留年せずに進級）、最年長の生徒は18才であった。
- ・ 男女間格差  
校長によれば、一般に男子生徒のほうが成績が良い。その理由として、都市部であっても女子は家事手伝いをしており、男子のほうが勉強する時間を女子より多く持てるからとのこと。

・ 通学距離（すべて徒歩通学）

徒歩で1km未満	15%
徒歩で1～3km	75%
徒歩で3～6km	7%
徒歩で6km以上	3%
合 計	100%

- ・ その他  
理科や地理の教材教具（人体模型、地図など）は学校独自で作成して授業で使っている。  
これらの保管室の隣の一室でラジオ番組の録音を行っており、録音済みテープを教科ごとに分類して保管している。
- ・ 他ドナー等の協力  
Ethiopian Social Rehabilitation Fund（おそらく ESEDF：Ethiopian Social Rehabilitation and Development Fundのことと思われる）という団体の支援で建設された校舎が1棟ある。窓ガラス付きの近代的な教室である。旧来型の教室も引き続き使用中。

### 3. Benishangul-Gumuz 州 Assosa 中学校 面会者：校長

#### 【遠隔教育の実状】

- ・ 媒体：テレビ
- ・ 保有数：1 台（ラジオは 2 台あるが故障中。スピーカーは無し）
- ・ 採用科目：化学、生物、物理、数学
- ・ 番組の長さ：15 分
- ・ 受信・聴講している番組の送信所：アディスアベバの情報省の送信所
- ・ 聴講学年：Grade9 のみ（Grade9 の番組しか制作・放送されていない）。
- ・ 聴講開始年度：1999-2000 年度から。来年度（2000 年 7 月）から Grade10 の番組が放送されることになっている。
- ・ 聴講方法：通常の授業時間帯に合わせて生放送で番組を視聴（録音はしない）。  
テレビ視聴専用の教室で各学級が交替で授業を受ける。

#### ・ 採用例

##### 〔9 年生 A 組の時間割〕

時間帯	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
8:10-8:50	アムハラ語	公民	歴史	数学	地理
8:50-9:30	物理	保健体育	化学	アムハラ語	歴史
9:30-10:10	公民	数学	英語	歴史	化学
10:10-10:50	英語	英語	地理	生物	英語
11:00-11:40	生物	化学	数学	英語	数学
11:40-12:20	保健体育	生物	生物	物理	物理
12:20-13:00	数学	物理	—	化学	—

※網かけ部分（化学、生物、物理、数学）を遠隔教育で補完

#### ・ 教育テレビ番組の放送時間割（全国共通）

時間帯	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
11:00-11:15	数学	物理(r)	化学(r)	生物(r)	数学(r)
11:20-11:35	物理	化学(r)	生物(r)	数学(r)	物理(r)
11:40-11:55	化学	生物(r)	数学(r)	物理(r)	化学(r)
12:00-12:15	生物	数学(r)	物理(r)	化学(r)	生物(r)
12:35-12:50	数学(r)	物理(r)	化学(r)	生物(r)	数学(r)
12:55-13:10	物理(r)	化学(r)	生物(r)	数学(r)	物理(r)
13:15-13:30	化学(r)	生物(r)	数学(r)	物理(r)	化学(r)
13:35-13:50	生物(r)	数学(r)	物理(r)	化学(r)	生物(r)

※月曜日の午前中以外はすべて再放送。(r)は再放送を示す。

月～金曜日、午前と同じ順番で午後に番組に繰り返す。

網かけ部分が Assosa 中学校 9 年 A 組で採用している番組。

#### ・ 遠隔教育の利点

- 1) 教授方法、学習方法のプロセスを向上させることができる。
- 2) 均等で質の高い教育を施すことができる。
- 3) 理数科教科については、学校に実験器具がなくても視覚的に学ぶことができる。
- 4) 生徒の学習意欲をかきたて楽しみながら学ぶことを可能にする。

※ 校長から、遠隔教育を採用しているからといって、他校と比べて自校の生徒のほうが学業成績が良いとは言いきれないが、少なくとも今年の Grade9 よりは今年の Grade9 のほうが対象 4 教科については理解度が高い、とのコメントがあった。

・ 遠隔教育の改善点

テレビ（受像機）が学校に1台しかないため、番組に合わせて各学級がテレビ視聴室に出入りしなければならない。画像そのものは鮮明である。

【Assosa 中学校の現状】

・ 二部制

午前の部	9年生	—	—	12年生
午後の部	—	10年生	11年生	—

※1999-2000年度はテレビ番組視聴のため固定（交替なし）。

・ 教室数 9（テレビ視聴室、図書室などを除く）

・ 生徒数 1,210人（男子770人、女子440人）

学年	9年生	10年生	11年生	12年生	合計
男子生数	239	210	164	157	770
女子生徒	160	144	74	62	440
合計	399	354	238	129	1,210

・ 教員数 33人（男性32人、女性1人）

教科担任制。二部制のため校長、副校長以外は午前か午後のどちらかのシフトのみ教える（セメスターごとに交替）。

教員資格	教員数	
	男性	女性
Certificate を保有しない教員	0	0
Certificate を保有する教員	2	0
Diploma を保有する教員	19	1
Degree を保有する教員	11	0
合計	32	1

・ 教科書 学校から生徒への貸与方式。Grade9は新カリキュラムのため生徒3人に1冊の割合、Grade10-12は旧カリキュラムにまだ則っているため生徒8に1冊の割合。

・ 夜間コースの実施（5:40pm~9:00pm）

→ Grade9-12向けに夜間授業を行っている（生徒数250人）。

誰でも入学可能で、生徒の年齢層は幅広く20~35才の生徒が多い。

<通学の動機>

— 昼間は働かなくてはいけないため、時間の空く夜に学校に通う。

— 学歴に応じて給与が支払われるため、より高い所得を得るために学ぶ

— その他は、実学として知識を得るなど多様な動機による。

<授業料>

Grade9は15Birr/月、Grade10は16Birr/月、Grade11は17Birr/月、Grade12は18Birr/月。授業料の10%は学校全体の運営費に充当、90%を夜間教員へ支給。

<夜間教員>

教員は昼間の教員と同じで、夜間コースで教え、その分の手当てを得る。

・ 学校の収入は、夜間コースの授業料を除き基本的にゼロ。

給与…REBから直接教員に支給

文具…REBから学校に現物支給

学校運営費…生徒の親からSchool Feeのようなものは一切徴収していない。住民参加（community participation）や受益者とのコストシェアリングはゼロ。光熱費、修繕費、備品購入代金は、夜間コースの授業料から半分を充てている。残り半分を教育局が負担している。



・ 通学距離（すべて徒歩通学）

徒歩で1km未満	3分の1
徒歩で1～3km	3分の2
徒歩で3～6km	
合計	100%

・ 留年・退学率

各学年とも、留年率は15～20%、退学率は3～4%である。高等教育レベルへの進学者は1998年に11名、1999年に7名であった。

・ 過去9年間の生徒数の推移

年度	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999
生徒数	378	550	720	672	807	711	940	1016	1210

増加の理由は、アサイタの人口増加（流入）と就学率の向上の両方である。

4. Harari州 Medhanealem 中学校 面会者：Mr. Sissay Mulunen（校長）

【遠隔教育の実状】

- ・ 媒体：テレビ、ラジオ
- ・ 保有数：テレビ1台（ビデオデッキ1台）  
ラジオ4台（スピーカーは無し）。
- ・ 採用科目
  - 1) テレビ：生物、化学、物理、数学
  - 2) ラジオ：アムハラ語、地理、歴史、生物、化学、物理
- ・ 番組の長さ：15分（テレビ）、20分（ラジオ）
- ・ 受信・聴講している番組の送信所
  - 1) テレビ：アディスアベバの情報省の送信所
  - 2) ラジオ：Alemaya 送信所
- ・ 聴講学年
  - 1) テレビ：Grade9のみ（Grade9の番組しか制作・放送されていない）。
  - 2) ラジオ：Grade9のみ（アムハラ語、生物、化学、歴史、地理、物理の6教科）

来年度（2000年7月～2001年6月）から、EMAでGrade10向けに制作される番組を視聴することになっている。
- ・ 聴講方法：番組を録画し、授業で再生。テレビについては、専用の教室で各学級が交替で授業を受ける。
- ・ 採用例

〔9年生B組の時間割〕

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1	生物	英語	化学	公民	生物
2	化学	地理	地理	歴史	英語
3	物理	ハラ語   和ミ語	英語	英語	ハラ語   和ミ語
4	数学	生物	数学	アムハラ語	保健体育
5	英語	アムハラ語	物理	物理	化学
6	保健体育	公民		数学	数学
7	歴史	物理		生物	
	アムハラ語	数学		化学	

※網かけ部分の時間帯で番組を視聴するほか、その他の時間帯でも録画した番組を適宜視聴する。さらにラジオにおいても同様に、教員の裁量で必要に応じて適宜通常の授業中に番組を聴講する。

【Medhanealem 中学校の現状】

- ・ 使用言語：英語
- ・ 1948年設立
- ・ 二部制

午前の部	—	10年生	—	12年生
午後の部	9年生	—	11年生	—

※1999-2000年度はテレビ番組視聴のため固定（交替なし）。

- ・ 教室数 26（テレビ視聴室、図書室などを除く）
  - ・ 生徒数 3,021人（男子1,634人、女子1,387人）
  - ・ 夜間コースの実施
- Grade9-12向けに夜間授業を行っている（生徒数約700人）。

## 5. Dire Dawa 州 Depo 小学校 面会者：校長

【遠隔教育の実状】

- ・ 媒体：ラジオ
  - ・ 保有数：3台、スピーカー1台
  - ・ 採用科目：理科、社会
  - ・ 番組の長さ：20分
  - ・ 受信・聴講している番組の送信所：Alemaya 送信所
  - ・ 聴講方法：番組を録音し、あとで聴講。
- Grade4は英語、Grade5,6は理科と社会を聴講。

- ・ 採用例

〔5年生C組の時間割〕

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1	英語	社会	英語	アムハラ語	理科
2	理科	算数	理科	英語	算数
3	社会	英語	算数	社会	アムハラ語
4	音楽	理科	体育		社会
5	算数	音楽	社会	算数	英語
6	アムハラ語	アムハラ語	アムハラ語	アムハラ語	芸術
7	英語	芸術	算数	理科	体育

※網かけ部分を遠隔教育で補完

- ・ 遠隔教育の欠点  
テレビと異なり聴覚に頼るだけなので、（生徒の）集中力を持続させることがむずかしい。

【Depo 小学校の現状】

- ・ 二部制
- ・ 生徒数 2,078人。うち男子 999人、女子 1,079人。
- ・ 夜間コースあり。生徒数 450人。うち男子 188人、女子 262人。  
女子がなぜ男子より多いかを教員に質問したところ、おそらく昼間は使用人として働く女性が多いためだと思ふ旨回答があった。

## 6. Dire Dawa 州 Dire Dawa 中学校 面会者：校長

- ・ 専用のテレビ室で視聴。
- ・ 授業では生放送で視聴したり、再生で視聴したりする。
- ・ 教員不在時に、生徒にテレビ授業と教員の授業のどちらが良いかを質問したところ、生徒から声を揃えて教員のほうが良いとの回答があった。テレビは決して実際の教員に代

わるものではないとのことであった。

7. Gambella 州 Openo 中学校 (Grade9-10) 面会者：Mr. Melaku Tegegn (校長)

【遠隔教育の実状】

- ・ 媒体：テレビ、ラジオ
- ・ 保有数：テレビ 1 台 (ビデオデッキ無し)  
ラジオ 4 台 (スピーカーは無し)。
- ・ 採用科目
  - 1) テレビ：生物、化学、物理、数学、英語 (←英語については EMA にて要確認)
  - 2) ラジオ：英語、アムハラ語、地理、歴史
- ・ 番組の長さ：15 分 (テレビ)、20 分 (ラジオ)
- ・ 受信・聴講している番組の送信所
  - 1) テレビ：アディスアベバの情報省の送信所
  - 2) ラジオ：Gore 送信所 (オロミア州)
- ・ 聴講学年
  - 1) テレビ：Grade9 のみ (Grade9 の番組しか制作・放送されていない)。
  - 2) ラジオ：Grade9 のみ
 来年度 (2000 年 7 月～2001 年 6 月) から、EMA で Grade10 向けに制作される番組を視聴することになっている。
- ・ 聴講方法：番組を生放送で視聴。テレビ、ラジオとも番組とも、ホールで Grade9 の全学級 (5 クラス) の生徒 453 人が一同に会して授業を受ける。テレビ受像機とラジオカセットは校長室に保管しており、授業の度にホールに運ばなければならない。
- ・ 採用例

〔9 年生 E 組の時間割 (1 学期：9 月～1 月)〕

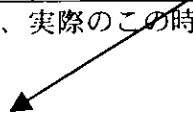
	時間帯	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1	8:00-8:40	アムハラ語	英語	化学	化学	歴史
2	8:40-9:20	生物	保健体育	物理	歴史	数学
3	9:20-10:00	アムハラ語	地理	英語	数学	英語
4	10:15-10:55	物理	歴史	数学	英語	生物
5	10:55-11:35	数学	公民	保健体育	物理	アムハラ語
6	11:35-12:15	化学	数学	地理	生物	物理
7	12:15-12:55	英語	生物	アムハラ語	公民	化学

※網かけ部分の時間帯にラジオ番組を視聴する。

〔9 年生 E 組の時間割 (2 学期：2 月～6 月)〕

	時間帯	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1	8:00-8:40	歴史	保健体育	生物	公民	生物
2	8:40-9:20	数学	英語	化学	英語	数学
3	9:20-10:00	アムハラ語	歴史	英語	地理	化学
4	10:15-10:55	英語	地理	アムハラ語	物理	保健体育
5	10:55-11:35	化学	アムハラ語	数学	数学	アムハラ語
6	11:35-12:15	生物	物理	物理	化学	英語
7	12:15-12:55	物理	数学	公民	生物	歴史

※太枠部分の科目はダミーで、実際のこの時間帯には以下のテレビ番組を視聴する。



・ テレビ番組表（当該部分）

時間帯	水曜日
11:20-11:35	生物(r)
11:40-11:55	数学(r)
12:00-12:15	物理(r)
12:15-12:35	(英語)
12:35-12:50	化学(r)

←この時間帯は教育番組の放送はないため、EMA制作の（教科としての）英語のビデオを視聴する。

※ r は再放送を示す。

・ 遠隔教育の利点

→生徒のみならず教員にとってもより良い教授法の参考になる。

・ 遠隔教育の課題

→テレビは何度も再放送されるので問題ないが、ラジオの場合、一度切りの（再放送されない）ため、実際の授業時間帯に合わせて採用することがむずかしい。また Gore 送信所の番組が混んでいるため、もっとラジオ番組を聞きたいのだが、提供される番組が限られている。さらに、この学校ではホールに 400 人を超える生徒を集めて視聴・聴講させるため、授業を運営すること自体が非常に困難である。

【Openo 中学校の現状】

・ 使用言語：英語

・ 一部制

・ 生徒数 739 人（男子 544 人、女子 195 人）／ 教員 17 人（全員男性）

→女子が少ない理由としては、早婚が挙げられる。15・20 才で殆どの女子が結婚するため、中学校通学者は減少する。

・ Grade9 の生徒に、テレビとラジオのどちらが好きかをインタビューしたところ、全員がテレビのほうが好きだと答えた。理由としては、映像が伴うため教科の内容を理解しやすいとのことであった。

・ 部族別の生徒数は以下のとおり。

	部族名	男子生徒数	女子生徒数	合計	割合 (%)
1	Anuak	279	57	336	45.5
2	Oromo	76	71	147	19.9
3	Nuer	99	4	103	13.9
4	Amhara	40	40	80	10.8
5	Tigray	23	12	35	4.7
6	Gurage	10	7	17	2.3
7	Kembata	7	3	10	1.4
8	Hadia	8	0	8	1.1
9	Wolyta	1	1	2	0.3
10	Komo	1	0	1	0.1
	合計	544	195	739	100

8. Gambella 州 Ras Cobena 小学校 面会者：校長

【遠隔教育の実状】

・ 媒体：ラジオ

・ 保有数：ラジオ 1 台（もう 1 台あるが故障している。スピーカーは無し）。テレビ 1 台。

・ 採用科目：英語、社会、アニア語

・ 番組の長さ：20 分

・ 受信・聴講している番組の送信所：Gore 送信所（オロミア州）。しかし音質は不明瞭。

・ 聴講方法：番組を生放送で聴講

・ 採用例

〔2年生 A組の時間割〕

	時間帯	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1	8:00-8:40	理科	社会	英語	理科	アニマ語
2	8:40-9:20	アニマ語	理科	理科	英語	英語
3	9:20-10:00	英語	アニマ語	算数	算数	理科
4	10:15-10:55	社会	英語	社会	アニマ語	保健体育
5	10:55-11:35	芸術	算数	アニマ語	音楽	算数
6	11:35-12:15	算数	保健体育	音楽	芸術	社会

※ 網かけ部分の時間帯にラジオ番組（社会、英語、アニマ語）を視聴する。

〔7年生 A組の時間割〕

	時間帯	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1	8:00-8:40	アニマ語	化学	アニマ語 ミル語	算数	社会
2	8:40-9:20	保健体育	物理	物理	アニマ語	アニマ語
3	9:20-10:00	生物	社会	算数	物理	英語
4	10:15-10:55	社会	英語	生物	保健体育	算数
5	10:55-11:35	アニマ語 ミル語	生物	アニマ語	化学	保健体育
6	11:35-12:15	英語	算数	英語	英語	化学
7	12:15-12:55	算数	アニマ語	英語	社会	アニマ語 ミル語

※ 網かけ部分の時間帯にラジオ番組（英語）を視聴する。

・ Gore 送信所 10kw のラジオ教育番組のタイムテーブル

時間帯	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
8:05-8:20	アニマ語 5	理科 5K	アニマ語 9	理科 5E	地理 9
8:25-8:40	理科 1K	理科 1A	社会 2K	英語 3	英語 4
8:45-9:00	生物 9	英語 6	英語 1	社会 5E	アニマ語 1
9:05-9:20	社会 5K	化学 9	理科 6K	歴史 9	理科 1K
9:25-9:40	アニマ語 1	社会 6K	英語 9	社会 1K	英語 3
9:45-10:00	英語 5	理科 2K	英語 2	社会 1A	歴史 9
10:20-10:35	理科 6K	社会 6K	化学 9	社会 2K	理科 1A
10:40-10:55	英語 9	英語 3	英語 6	英語 4	社会 5E
11:00-11:15	社会 1A	理科 1K	英語 2	地理 9	社会 1K
11:20-11:35	英語 2	アニマ語 1	理科 2K	英語 1	アニマ語 5
11:40-11:55	理科 1A	アニマ語 9	理科 5E	生物 9	社会 1A
12:00-12:15	理科 5K	英語 1	社会 5K	英語 5	社会 1K
12:35-12:50	アニマ語 5	理科 5K	アニマ語 9	理科 5E	地理 9
12:55-13:10	理科 1K	理科 1A	社会 2K	英語 3	英語 4
13:15-13:30	生物 9	英語 6	英語 1	社会 5E	アニマ語 1
13:35-13:50	社会 5K	化学 9	理科 6K	歴史 9	理科 1K
13:55-14:10	アニマ語 1	社会 6K	英語 9	社会 1K	英語 3
14:15-14:30	英語 5	理科 2K	英語 2	社会 1A	歴史 9
14:50-15:05	理科 6K	社会 6K	化学 9	社会 2K	理科 1A
15:10-15:25	英語 9	英語 3	英語 6	英語 4	社会 5E
15:30-15:45	社会 1A	理科 1K	英語 2	地理 9	社会 1K
15:50-16:05	英語 2	アニマ語 1	理科 2K	英語 1	アニマ語 5
16:10-16:25	理科 1A	アニマ語 9	理科 5E	生物 9	社会 1A
16:30-16:45	理科 5K	英語 1	社会 5K	英語 5	社会 1K

※ 数字は学年、Aはアニマ語、Kはカフェチヨ語で放送される番組を示す。

※ 毎日午前と午後と同じ番組が同じ順番で放送される。各半日のガンベラ州向け教育番組は網掛けで示した部分であり、アニア語 1 が 3 コマ、理科 1A が 3 コマ、社会 1A が 3 コマ (Grade1 計 9 コマ)、アニア語 5 が 2 コマ、理科 5E が 2 コマ、社会 5E が 2 コマ (Grade5 計 6 コマ) の合計 15 コマである。

※ 網掛け以外の部分は他州で聴講している。

※ 2 年生 A 組、7 年生 A 組の時間割の聴講科目と、本表の番組放送時間帯に齟齬があるのは、異なる年度のものであるためと思われる。

【Ras Gabena 小学校の現状】

- ・ 使用言語：Grade1-4 アニア語 (Anuak)、Grade5-8 英語
- ・ 一部制
- ・ 生徒数 1,627 人 (男子 971 人、女子 656 人)
- ・ 教員 42 人 (Grade1-4 クラス担任制、Grade5-8 教科担任制)
- ・ 夜間コースの実施 (午後 6:15-9:00)  
→Grade3-8 向けに夜間授業を行っている (生徒数 491 人:男性 270 人、女性 221 人)。  
保健体育などの科目はないが、修了すれば昼間の小学校と同じ卒業資格を得られる。
- 授業料 (月謝)

Grade3	Grade4	Grade5	Grade6	Grade7	Grade8
5Birr	5Birr	8Birr	9Birr	10Birr	12Birr

授業料の 10%を光熱費などの学校運営費、90%を夜間授業手当てとして教員に支払っている。

- ・ 男女間格差  
男子生徒のほうが概して成績が良いとのこと。女子は母親の手助けや、蒔き集め、水汲みなど家の仕事の時間を取られがちで、勉強する時間がない。さらに早婚傾向にあり、学習を継続する動機が男子に比べて少ないことによる。
- ・ 部族別生徒数は以下のとおり。

部族名	男子生徒数
1 Anuak	609
2 Oromo	459
3 Nuer	249
4 Amhara	159
5 Tigray	72
6 Gurage	38
7 Kembata	11
8 Wolyta	11
9 Kaficho	7
10 Komo	5
11 Shekecho	4
12 Opo	2
13 Greek	1
合計	1,627

※13 番の Greek は (たまたま) ギリシャ人の子弟が在籍していることを示している。

9. SNNP 州 Mizan Teferi 小学校 面会者：副校長

【遠隔教育の実状】

- ・ 媒体：ラジオ
- ・ 保有数：1 台。スピーカーは無し。
- ・ 採用科目：英語、理科、社会 (6 年生の場合)
- ・ 受信・聴講している番組の送信所：Wolyta (SNNP 州) 1kw と 10kw、Gore 送信所 1kw

(オロミア州)。しかし音質は不明瞭。

- ・ 聴講方法：番組を生放送で聴講。
- ・ 採用例

[6年生D組の時間割]

	時間帯	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1	8:00-8:40	アムハラ語	アムハラ語	アムハラ語	アムハラ語	アムハラ語
2	8:40-9:20	理科	理科	英語	算数	算数
3	9:20-10:00	社会	英語	理科	英語	理科
4	10:15-10:55	英語	芸術	算数	理科	英語
5	10:55-11:35	体育	算数	社会	社会	社会
6	11:35-12:15	算数	音楽	体育	芸術	音楽

※ 網かけ部分の時間帯を視聴する。

【Mizan Teferi 小学校の現状】

- ・ 二部制
- ・ 生徒数 2,932 人 男子 1,586 人、女子 1,346 人

#### 10. SNNP 州 Gacheb 小学校 面会者：校長

【遠隔教育の実状】

- ・ ラジオを有しているものの、これまで電気が学校に来ていなかったため、放送番組は全く聴講していなかった。電池を使ってたまたま教員が番組を聞くことはあったが、体系的に授業で聞くことはなかった。今後はあらゆる教育番組を聞いていきたいとのこと。

【Gacheb 小学校の現状】

- ・ 生徒数 1,166 人 男子 723 人、女子 443 人
- ・ 生徒の部族・・・Bench のみ

#### 11. SNNP 州 Mizan 中学校 面会者：校長、副校長

【遠隔教育の実状】

- ・ 媒体：ラジオ
- ・ 保有数：2 台（スピーカーは無し）、テレビ 1 台（ただし、受信状況が極めて悪いため授業に使える画質・音質ではない）
- ・ 採用科目：生物のみ
- ・ 聴講方法：EMA の制作したカセットテープを「生物」の授業に適宜補完的に使う。
- ・ 採用例

[9年生B組の時間割]

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1	英語	数学	化学	歴史	公民
2	数学	英語	生物	アムハラ語	化学
3	物理	歴史	数学	数学	数学
4	生物	物理	英語	保健体育	英語
5	化学	地理	保健体育	地理	物理
6	アムハラ語	公民	歴史	英語	生物

※網かけ部分（化学）を学校訪問時に視察。カセットテープであるため、この時間帯に限らず、他の時間帯にも教員の判断で授業に採用する。

- ・ 遠隔教育の利点

- 1) 僻地にいながらにして（距離を超えて）、質の高い教員の講義を聴くことができる。
- 2) 番組は 20 分であるが、内容が明瞭で要点良くまとめられている。
  - ・ 気づいた点
- 1) 視察した授業では、教員がテープを一度聴かせた後、アムハラ語で同じ内容を説明していた。これは、英語の語学力が十分でない生徒（特に Grade9）がいるため、中身の理解を助けるために行っているとのことである。Grade11, 12 ともなるとこのようなアムハラ語による繰り返し説明は不要になるが、英語力の低い生徒は他の教科の成績も悪くなる傾向があるとのことである。
- 2) 本来であれば、EMA で制作された「生物」、「化学」のカセットテープは（州と Zone を経て）各学校に配付されるはずであるが、この学校には「化学」しか配付されていなかった。これは SNNP 州教育局にダビングをする予算がないため、徹底できていないことによる。ちなみに、同教育局ではダビングは民間業者に依頼しており、ビデオテープ 1 本につき 50～60Birr、カセットテープ 1 本につき 11～12Birr かかるとのことである。

【Mizan 中学校の現状】

- ・ 二部制

午前の部	9 年生	10 年生	—	—
午後の部	—	—	11 年生	12 年生

※午前と午後のシフトは毎週交替する。

- ・ 授業時間帯

午前の部 8:00～12:15、午後の部 12:30～16:45

EMA の教育テレビ放送は 11:00～13:50 であり、番組を視聴するにしても二部制採用校の場合は時間帯があまり良くない旨指摘があった（←番組の再放送を何度もしているため、これは工夫次第で解決できることと思われる）。



## 添付資料 9 州教育局面会結果

### 1. Addis Ababa 州教育局

面会者：Mr. Tesfamariam Gebremariam（教育メディア部長）

Mr. Tesfaye Gebre Meskel（トレーニング担当オフィサー）

#### 【州の教育事情一般】

- ・ エチオピアの義務教育年限 初等教育 4 年間（小学校 1～4 年生）
- ・ 州内の一つの小学校の平均的な生徒数→約 6,000 人  
一番大きい小学校で 11,000～12,000 人の生徒を抱える（二部制）  
1 クラスあたりの生徒数は 72～80 人
- ・ 州内の一つの中学校の平均的な生徒数→約 5,000 人
- ・ 初等教育に使用する言語（アジスアベバ標準）→ アムハラ語
- ・ 中等教育に使用する言語（同上）→ 英語

#### 【遠隔教育の実状】

- ・ アジスアベバ州の小学校は 237 校、中学校は 33 校。
- ・ ラジオ教育番組・・・すべての小学校で補完的に聴講。
- ・ テレビ番組・・・聴講している中学校はゼロ（ただし、番組そのものは放送されている）。  
理由→生徒数(及び学級数)が多い割に TV 受像機が無いため視聴できない。
- ・ 教育テレビ番組視聴に関する調査  
→2000 年 1 月に、州内の 26 の公立中学校を対象に州教育局が独自に行った調査の結果では、テレビ番組を見るための施設の状況は以下のとおり良好とは言い難かった。

テレビ保有台数	中学校数
2	9
1	10
0	7
合計	26

テレビを見るための	中学校数
大規模の講堂を有する学校	2
中規模の講堂を有する学校	3
講堂を有していない学校	21
合計	26

- ・ テレビ番組を活用できない理由としては、以下の点が挙げられた。
  - 1) テレビ受像機がない。
  - 2) テレビ番組を見るための大きな部屋がない。
  - 3) 大きな部屋があっても机・椅子が足りない。
  - 4) 生徒数、学級（クラス）数が多すぎて一同に会することができない。
- ・ 州教育局のラジオ番組制作は 20 年の歴史を有する。
- ・ 過去 5 年間に州教育局で制作した番組数は 784。
- ・ ラジオ番組の教員用ガイド（teachers guide）→ 番組（教科）ごとに州教育局（印刷は EMA の印刷施設を無料で借用）で作成し、各学校に無償配布している。配布数は一教科について 3 部である。また、教員用ガイドのある教科は以下のとおりで、初等教育の各学年（Grade1～8）別に作成されている。
  - 1)英語、2)アムハラ語、3)社会、4)理科
- ・ ラジオ番組の教員用ガイドの内容  
例えば Grade4 の「英語」科目のガイドは、各章ごとに以下の項目に沿って授業運営上の留意点がかかれている。
  - 1) 本章を学ぶねらい

- 2) 番組放送前に行うこと
- 3) 番組放送中に行うこと
- 4) 番組放送後に行うこと

【スタジオ建設の現状】→ 建物は完成、引渡しは未だ

もともとは小学校として建設された建物が、実際にはかなり小さかったため、これをラジオスタジオのビルディングに転用することのこと。

## 2. Afar 州教育局

面会者：Mr. Yasin Yayo（教育局長代行兼教育支援部長）他 3 名

【遠隔教育の実状】

- ・ 現在、教育ラジオ番組を聞くか聞かないかは各小学校の判断に任されており、授業に採用することは義務にはなっていない。ただし、アファール州にある 122 の小学校のうち 85 校は何らかの形でラジオ番組を聞いていると考えられる。残りの 37 校については電波が届いていない。
- ・ ラジオ番組を受信できない地域では各学校にテープを配布している。  
教科 → アムハラ語、英語、生物、化学、歴史、地理
- ・ テレビ番組は、中学校で ETV（エティオピア・テレビ）を受信している。  
教科 → 英語、数学、生物、化学、歴史、地理

【スタジオ建設の現状】→ 未着工

- ・ ESDP ではアファール州のラジオスタジオ建設費として Birr150,000（≒187,500US ドル）の予算（1998 年度）を組んでいるが、実際に予算の割り当てはなされていない。
- ・ アファール州 REB では、遠隔教育に係る予算（国家拠出分 73% 及びドナー拠出分 27%）が中央政府から州政府に配付されているかも不明とのことであるが、いずれにせよ州政府から REB にスタジオ建設費は一切割り当てられていない状況にある。
- ・ REB はその理由として、機材が日本側から入るかどうかが不明の段階でスタジオ建設に着工するのはリスクが大きすぎるとしている。すなわち、予算的には建設することに問題ないものの、日本の援助により機材が入るという確証が得られなかったため、今日まで（手続きも含めて）建設に着手することができなかったとのこと。

↓

REB は、スタジオを建設する強い意図があることを何度も表明した。また、今回調査団が結ぶ予定のミニッツを署名後 EMA から入手し、州政府に働きかけたいとの意向である。なお、スタジオ建設に要する期間は長くて 1 年間とのこと。

【その他留意事項】

州教育局は現在 Assita にあるが、アファール州の州都を Semera に移転中であり、教育局をはじめ、他の部局も建物を Semera の一区画に建設中である。したがって、スタジオの建設サイトも当該区画内になる見込みである。同区画は現在全く人の住んでいない土地であるが、周辺には広大な土地が広がっているため、一度予算が付けばサイト選定・確保に関しては大きな問題はないと思われる。

## 3. Benishangul-Gumuz 州教育局

面会者：州教育局長）他数名

【州内の教育事情一般】

- ・ 小学校数 267、中学校数 10
- ・ 遠隔教育の採用
  - －小学校では殆どが採用（←疑わしい）
  - －中学校では 10 校中 2 校が採用。採用していない（できない）8 校の問題は、TV 受像

機以前に電気がないことである。

【スタジオを必要とする理由】

ラジオスタジオがないため、1年に2回EMA（アジスアベバ）に行き番組制作をしなければならない（効率が悪い）。1回の滞在期間は約1ヶ月半であり、スタッフの交通費、日当・宿泊料の支給額は高価なものとなるため、州教育局にとって大きな財政負担となっている。これが州内に自前のスタジオを持ちたい最大の理由である。

【スタジオ建設の現状】→ 建設済み

- ・ 録音スタジオの建屋については建設済みである（コスト：1百万 Birr）。
- ・ 送信所の建屋については建設済みである（コスト：2百万 Birr）。

【スタジオ機材についての現状】

- ・ スタジオ機材については日本からの無償供与を期待していた。そのために2年前に着工し、既に建屋は完成している（建設業者からの引渡しはこれから）。
- ・ しかし、日本からの回答が非常に遅く、現在世銀の融資を期待して公示手続きを進めている最中である。必要な手続き書類の作成はアディスアベバにある EMPDE（Educational Material Production and Distribution Enterprise）が行っている。
- ・ まだ世銀から承認されたわけではないので、取りやめることもできるが、いずれにせよ日本側から正式な支援表明がなかったため、世銀の支援を得るつもりでいた。

↓

これについては、日本側としてはまだ予備調査の段階であり、コミットすることはできないが、少なくともスタジオ機材を入れる建屋と送信機を入れる建屋についてはベニシヤングル・グムス州の努力により完成済みであることを、外務省と JICA 本部に報告する旨説明した。

#### 4. Dire Dawa 州教育局

面会者：州教育局長代行、教育教材支援部長他数名

【州内の教育事情一般】

- ・ 小学校数 56、中学校数 4
- ・ 遠隔教育の採用 → すべての小中学校で遠隔教育を採用している。
- ・ 小学校の使用言語  
アムハラ語、オロミア語、ソマリ語。1校で2言語を使用している学校もあり、その場合、言語別にクラス分けしている。

【スタジオを必要とする理由】

ラジオスタジオがないため、1年に2回EMA（アジスアベバ）に行き番組制作をしなければならない（効率が悪い）。1回目はテスト制作のために1ヶ月、2回目は本制作のために2ヶ月滞在する。スタッフの交通費、日当・宿泊料などは、州教育局にとって大きな財政負担となっている。これが州内に自前のスタジオを持ちたい最大の理由である。

【スタジオ建設の現状】→ 未着工、土地取得済み

- ・ 建設予定地（面積：3,640 m<sup>2</sup>）は、1999年4月6日付けで取得済みである。スタジオ建設費は2百万 Birr を見込んでおり、2000年7月以降に着工し12月末までには完成予定である。
- ・ 暫定スタジオとしても、2000年9月開校予定の Sabian 中学校（教室数約30）の実験室に併設された小部屋を確保している。同校は世銀が90%、州が10%を負担して現在建設中である。

#### 5. Gambella 州教育局

面会者：州教育局長代行、教育教材支援部長他数名

【州内の教育事情一般】

- ・ 小学校数 123、中学校数 6
- ・ 遠隔教育の採用 → 小学校 115 校、中学校 3 校
- ・ 小学校の使用言語  
アニューア語、ヌエル語、英語。1 校で 2 言語を使用している学校もあり、その場合、言語別にクラス分けしている。
- ・ その他  
1998 年にテレビの中継所がガンベラに建設された。それ以前はテレビの電波が届かない地域であった。

【スタジオを必要とする理由】

ラジオスタジオがないため、1 年に 3 回（アジスアベバ）に行って番組制作をしなければならない（効率が悪い）。滞在期間は 45～60 日。スタッフ 15～18 名の交通費、日当・宿泊料などは約 70,000Birr にもおぼり、州教育局にとって大きな財政負担となっている。これが州内に自前のスタジオを持ちたい最大の理由である。

【スタジオ建設の現状】 → 建設・引渡し済み

- ・ 1999 年 11 月に完成（建設期間 1 年）。工事費は送信所建屋とパッケージで 2.5 百万 Birr。土地（面積：20,000 m<sup>2</sup>=200m×100m）は州政府からの無償供与による。資金はドナーからではなく州政府予算から拠出した。

## 6. Harari 州教育局

面会者：州教育局長他数名

【州内の教育事情一般】

- ・ 小学校数 46、中学校数 3
- ・ 遠隔教育の採用 → すべての小中学校で遠隔教育を採用している。
- ・ 小学校の使用言語  
ハラリ語 3 校、オロミア語 27 校、アムハラ語 19 校。  
1 校で 2 言語を使用している学校もある。
- ・ 初等教育の完全普及（UPE: Universal Primary Education）という目標はあるものの、日本で言う「義務教育」の概念はなく、就学の判断は事実上児童の親に一任されている。

【スタジオを必要とする理由】

ラジオスタジオがないため、1 年に 3 回 EMA（アジスアベバ）に行き番組制作をしなければならない（効率が悪い）。1 回の滞在期間は約 1 ヶ月であり、スタッフの交通費、日当・宿泊料などの支給総額は 60,000Birr となるため、州教育局にとって大きな財政負担となっている。1 回の出張に行くメンバーは、番組と教科の専門家 4 名、生徒 9 名、運転手 1 名とのこと。児童も連れていかなければならない。これが州内に自前のスタジオを持ちたい最大の理由である。

【スタジオ建設の現状】 → 未着工

- ・ 建設予定地は Asmari 小学校の校庭内に確保している。
- ・ 暫定スタジオとしては、かつて Urban Planning Office の建物だったもので、現在は州政府が所有する建物の部屋を使う予定である。この建物には現在州の広報関係の部署が入っており、テレビ機材などがすでに納入・保管されている（未設置）。

## 7. SNNP 州教育局および Bench Maji ゾーン教育部

面会者：Solomon Lodamo（SNNP 州教育局教育メディアチーム長）、Benchi Maji Zone 教育局長他 1 名

【州内の教育事情一般】

- ・ 小学校数 2,228、中学校数 82
- ・ 小学校の使用言語  
Grade1-6・・・英語を除く 11 言語、Grade7-8・・・英語
- ・ 部族数 46 グループ

【Benchi Maji Zone 内の教育事情一般】

- ・ 小学校数 106 校（書類では 115）、中学校数 5 校
- ・ 遠隔教育の採用 → すべての小中学校で採用との説明あり。  
しかし、同 Zone 内にある Gacheb 小学校を訪問し質問したところ、これまで全く番組を活用していないことが判明した。→ 後述  
さらに、中学校 5 校のうちテレビを有する学校は 1 校（Mizan 中学校）で、その学校においても ETV で放送される教育番組は全く視聴してなかった。また、ラジオ番組も音声が悪いため受信しておらず、EMA が制作・配付する「化学」番組のカセットテープを聴講するに留まっていた。→ 後述
- ・ 小学校の使用言語  
Grade1-6・・・アムハラ語、Grade7-8・・・英語
- ・ その他

- 1) Benchi Maji Zone には、Bench, Surma, Dizi, Sheko, Meanit の 5 つの woreda があり、これらは部族名と同時に異なる 5 つの言語名でもある。
- 2) Kefa Sheka Zone には、Masha Andoracha, Gesha, Gimbo, Menjiwo, Yeki, Chena, Telo, Cecha の 8 つの woreda がある。Zone 内には Kefa と Sheka の 2 つの主言語があり、この二つの部族が 2 大部族である。

【Mizan Teferi にスタジオを必要とする理由】

- 1) 同スタジオがターゲットとする 2 つの Zone は SNNP 州の中でも最も開発の遅れた地域であり、そのような地域であればこそ、人々の教育レベルを引き上げる必要がある。
  - 2) また、州都 Awasa から遠く離れた僻地にあり、transportation の問題が大きい。ちなみに Awasa までの距離は 825 km で、移動には片道、良い車で 2 日、普通の車で 3 日かかる。
  - 3) 2) の僻地である点と関連するが、連絡手段（communication）にも問題がある。電話が通じない場合が多く、州教育局との意思疎通に困難を伴うことから、当地にスタジオを作ることによりこれら不都合な点を解消できる。
- ・ 裨益する学校数（Benchi Maji と Kefa Sheka Zone の合計）  
小学校・・・329 校（州内の 14.8%）  
中学校・・・12 校（州内の 14.6%）

【スタジオ建設の現状】 → 未着工

- ・ スタジオ建設予定地は、Benchi Maji Zone 教育局の敷地内。暫定スタジオ・ルームも同建物内に 2 部屋用意している。スタジオ機材について日本の援助が得られるか判然としなかったため、これまで建設に着手することはできなかった。
- ・ 建屋と機材の管理は、実際には州教育局ではなく Benchi Maji Zone 教育局が行うことになる。したがって、建設費も州ではなく Zone レベル（Zone Council）で確保する必要がある。
- ・ スタジオの建屋・機材が Mizan に整備されれば、SNNP 州の Benchi Maji と Kefa Sheka の二つの Zone が主に裨益する。面積は前者が 23,443 k m<sup>2</sup>、後者が 12,739 k m<sup>2</sup>である。

添付資料 10 州別教育予算額 (ESDP Action Plan, Appendix D)

**ESDP Cost by Region by Component**

(Birr '000)

<i>Ababa</i>	<i>Tigray</i>	<i>Afar</i>	<i>Amhara</i>	<i>Oromiya</i>	<i>Somali</i>	<i>B/Gumuz</i>	<i>SNNPR</i>	<i>Gambella</i>	<i>Harari</i>	<i>Addis</i>
	<i>Dire Dawa Total</i>									
<b>ESDP COST BY COMPONENT</b>										
<i>Capital Cost</i>										
Primary	244,198	198,357	357,620	233,576	285,137	109,487	481,272	70,499	33,765	
140,094	14,547	2,168,550								
Secondary	55,383	24,701	39,600	42,997	56,585	16,450	12,648	14,600	9,110	
87,631	17,364	377,069								
TVET	1,707	2,800	7,500	1,700	26,300	9,600	809	4,900	3,590	
15,944	1,697	76,547								
Teacher Training	28,674	0	24,394	13,676	12,481	29,900	59,538	19,854	310	
2,900	0	191,727								
Adult & Non-formal										
Education	0	4,672	5,000	960	5,700	3,925	0	1,561	0	
4,060	0	25,878								
Special Education	0	0	1,716	0	748	0	0	0	300	
0	0	2,764								
Distance Education	0	17,157	7,938	2,838	8,394	12,510	4,889	4,011	8,175	
14,281	0	80,193								
Capacity Building	1,832	8,703	21,358	16,679	7,056	6,238	18,205	8,679	8,564	
17,601	0	114,914								
Administration	0	13,572	5,000	0	4,690	0	0	3,437	4,200	
3,000	0	33,899								
<b>Region Capital Cost</b>	<b>331,794</b>	<b>269,963</b>	<b>470,126</b>	<b>312,425</b>	<b>407,091</b>	<b>188,110</b>	<b>577,360</b>	<b>127,540</b>	<b>68,014</b>	
<b>285,510</b>	<b>33,608</b>	<b>3,071,541</b>								
<i>Recurrent Cost</i>										
Primary Education										
Education	303,497	156,018	906,070	1,597,615	193,364	116,234	689,313	68,926	58,963	
353,587	39,941	4,483,528								
Secondary	34,189	15,198	179,641	226,213	33,961	23,580	114,726	8,430	16,859	
213,780	14,106	880,683								
TVET	5,770	2,826	8,081	23,163	6,485	3,062	39,252	2,006	4,164	
25,116	5,399	125,323								
Teacher Training	14,714	7,277	53,009	56,391	23,162	3,097	36,501	10,293	7,668	
22,812	1,222	236,146								
Adult & Non-formal										
Education	14,543	11,504	37,598	20,134	12,520	3,511	5,768	1,841	2,986	
3,999	4,315	118,720								
Special Education	3,898	150	2,704	7,256	5,020	460	4,060	0	116	
0	232	23,895								
Distance Education	744	3,532	9,925	12,094	18,854	1,032	7,628	1,248	954	
0	1,658	57,669								
Capacity Building	703	0	0	0	2,613	0	714	1,076	75	
0	1,868	7,049								
Administration	13,092	18,432	179,399	177,809	25,231	10,115	54,378	48,040	11,444	
62,096	1,538	601,573								
<b>Region Recurrent Cost</b>	<b>391,150</b>	<b>214,937</b>	<b>1,376,427</b>	<b>2,120,675</b>	<b>321,209</b>	<b>161,091</b>	<b>952,340</b>	<b>141,860</b>	<b>103,229</b>	
<b>681,390</b>	<b>70,277</b>	<b>6,534,586</b>								
<i>Total Cost</i>										
Primary Education										
Education	547,696	354,375	1,263,690	1,831,191	478,501	225,721	1,170,585	139,425	92,727	
493,681	54,488	6,652,078								
Secondary	89,572	39,899	219,241	269,210	90,546	40,030	127,374	23,029	25,969	
301,411	31,470	1,257,752								

MINUTES OF DISCUSSIONS

PREPARATORY STUDY  
ON THE PROJECT FOR THE CONSOLIDATION  
OF  
EDUCATIONAL TELEVISION AND RADIO RECORDING STUDIOS  
IN  
THE FEDERAL DEMOCRATIC REPUBLIC OF ETHIOPIA

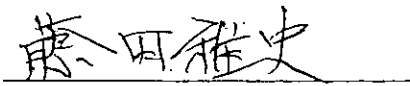
In response to a request from the Government of the Federal Democratic Republic of Ethiopia (hereinafter referred to as Ethiopia), the Government of Japan decided to conduct a Preparatory Study on the Project for the Consolidation of Educational Television and Radio Recording Studios (hereinafter referred to as the Project) and entrusted the study to the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as JICA).

JICA sent to Ethiopia the Preparatory Study Team (hereinafter referred to as the Team), which is headed by Mr. Masashi Fujita, Director, First Project Management Div., Grant Aid Management Department, JICA, and has been scheduled to stay in the country from 9th May 2000 to 4th June 2000.

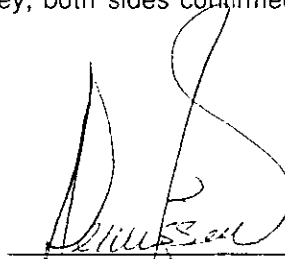
The Team held discussions with the officials concerned of the Government of Ethiopia and conducted a field survey at the study areas.

As a result of discussion and field survey, both sides confirmed the main items described on the attached sheets.

Addis Ababa, 26th May 2000

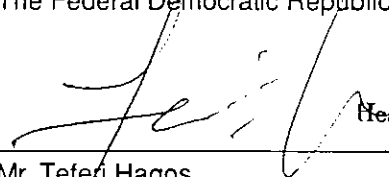


Mr. Masashi Fujita  
Leader  
Preparatory Study Team  
Japan International Cooperation Agency  
Japan



Mr. Demissew Bekele  
General Manager  
Educational Media Agency (EMA)  
The Federal Democratic Republic of Ethiopia

**Demissew Bekele Mulugeta**  
General Manager, Educational  
Media Agency



Mr. Teferi Hagos  
Head, Planning and Programming Department  
Ministry of Education  
The Federal Democratic Republic of Ethiopia

**Teferi Hagos Desta**  
Head, Planning & Project Department

Witness :



Mr. Hajemichael Kinfu  
Head, Bilateral Cooperation Department  
Ministry of Economic Development and Cooperation (MEDaC)  
The Federal Democratic Republic of Ethiopia

## ATTACHMENT

### 1. Objective of the Project

The objective of the Project is to improve access, quality, equity and efficiency of education in Ethiopia by strengthening educational television and radio recording studios.

### 2. Project Site requested by the Ethiopian side

The sites of the Project are as follows. The location map is shown in Annex- I .

#### (1) Radio Studio

	Region	City
1)	Addis Ababa	Addis Ababa
2)	Afar	Semera
3)	Benishangul	Assosa
4)	Dire Dawa	Dire Dawa
5)	Gambella	Gambella
6)	Harari	Harar
7)	SNNP	Mizan Teferi
8)	EMA	Addis Ababa

note : Benishangul Region opted for alternative equipment procurement strategy outside of Japan's Grant Aid.

#### (2) Television Studio

	Region	City
1)	Tigray	Mekelle
2)	EMA	Addis Ababa

### 3. Responsible and Implementing Agency

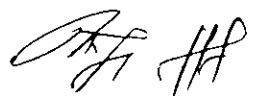
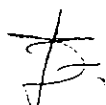
3-1. The Responsible Agency is the Ministry of Education (MOE).

3-2. The Implementing Agency is the Educational Media Agency (EMA).

3-3. The relationship of relevant organizations is shown in Annex- II .

### 4. Items requested by the Ethiopian side

After discussions with the Team, the items described in Annex-III were finally requested by the Ethiopian side. JICA will assess the appropriateness of the request and will report the findings to the Government of Japan.





## 5. Japan's Grant Aid Scheme

5-1. The Ethiopian side understood that the Japan's Grant Aid Scheme explained by the Team, as described in Annex-IV.

5-2. The Ethiopian side will take necessary measures, as described in Annex-V, for smooth implementation of the Project as a condition for the Japan's Grant Aid to be implemented.

## 6. Schedule of the Study

If the Project is found feasible as a result of the Preparatory Study, JICA will send the Basic Design Study Team to Ethiopia for further studies, subject to the decision by the Government of Japan.

## 7. Other Relevant Issues

7-1. The Ethiopian side understood that it is indispensable for implementing the Basic Design Study to secure appropriate buildings and enough space for radio and television studios by the Ethiopian side.

7-2. Both sides confirmed that the present situation of new studios is shown in Annex-VI.

7-3. The Ethiopian side is committed to secure enough budget and staff for operation and maintenance of equipment procured under Japan's Grant Aid. Also, the Ethiopian side shall make a request for technical training to the Team.

7-4. The Ethiopian side clearly stated that the Project is consistent with the concept and component of the Educational Sector Development Programme (hereinafter referred to as ESDP) and the Project makes a great contribution to ESDP.

7-5. The Ethiopian side promised to clarify the procedures for custom clearance and secure necessary budget for the clearance in consultation with the Ministry of Finance and each regional state.


7-6. The Team stated that a field study at the proposed site in Tigray could not be carried out because of security reason, and, therefore, that further study on the Project should be proceeded excluding the Mekelle's site. The Ethiopian side strongly requested that the Mekelle's site in Tigray Region should be included.

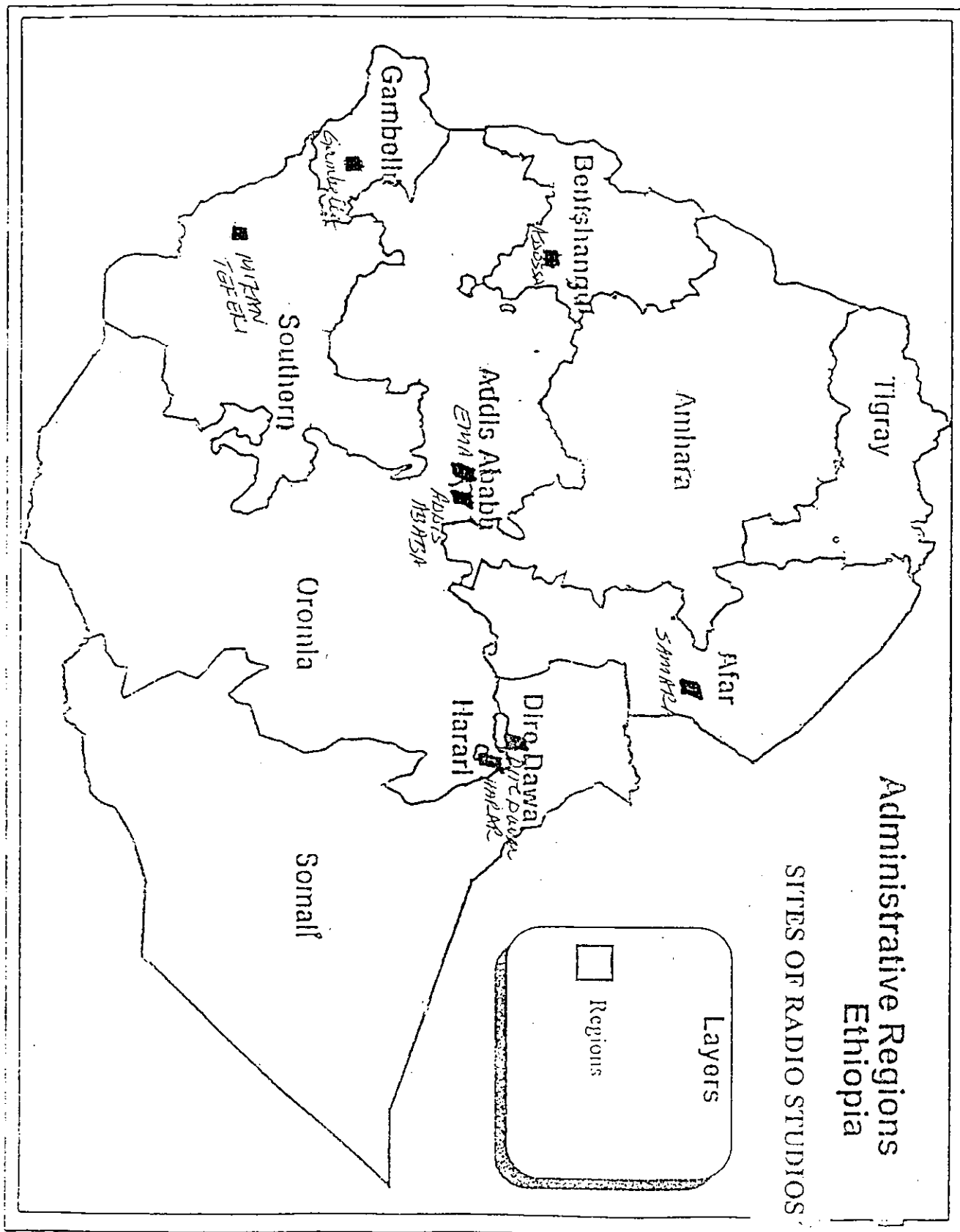
7-7. Because of the delay in materializing the Project, Benishangul Region opted for alternative equipment procurement strategy outside of Japan's Grant Aid. Therefore, the Ethiopian side requested the replacement of Assosa's site by Alemaya's site in Oromiya Region. The Team stated, however, that it is difficult to accept the request in principle because of no field study carried out by the Team.

7-8. The Ethiopian side requested CD players for the 11 existing transmitting stations. The Team stated that the Team will examine its necessity and appropriateness considering an efficient connection between radio studios mentioned in the article 2 and the 11 existing transmitting stations.

7-9. The Ethiopian side agreed to submit the timetables of transmission programmes at the 11 existing transmitting stations by the end of June, 2000 to the JICA Ethiopia office.

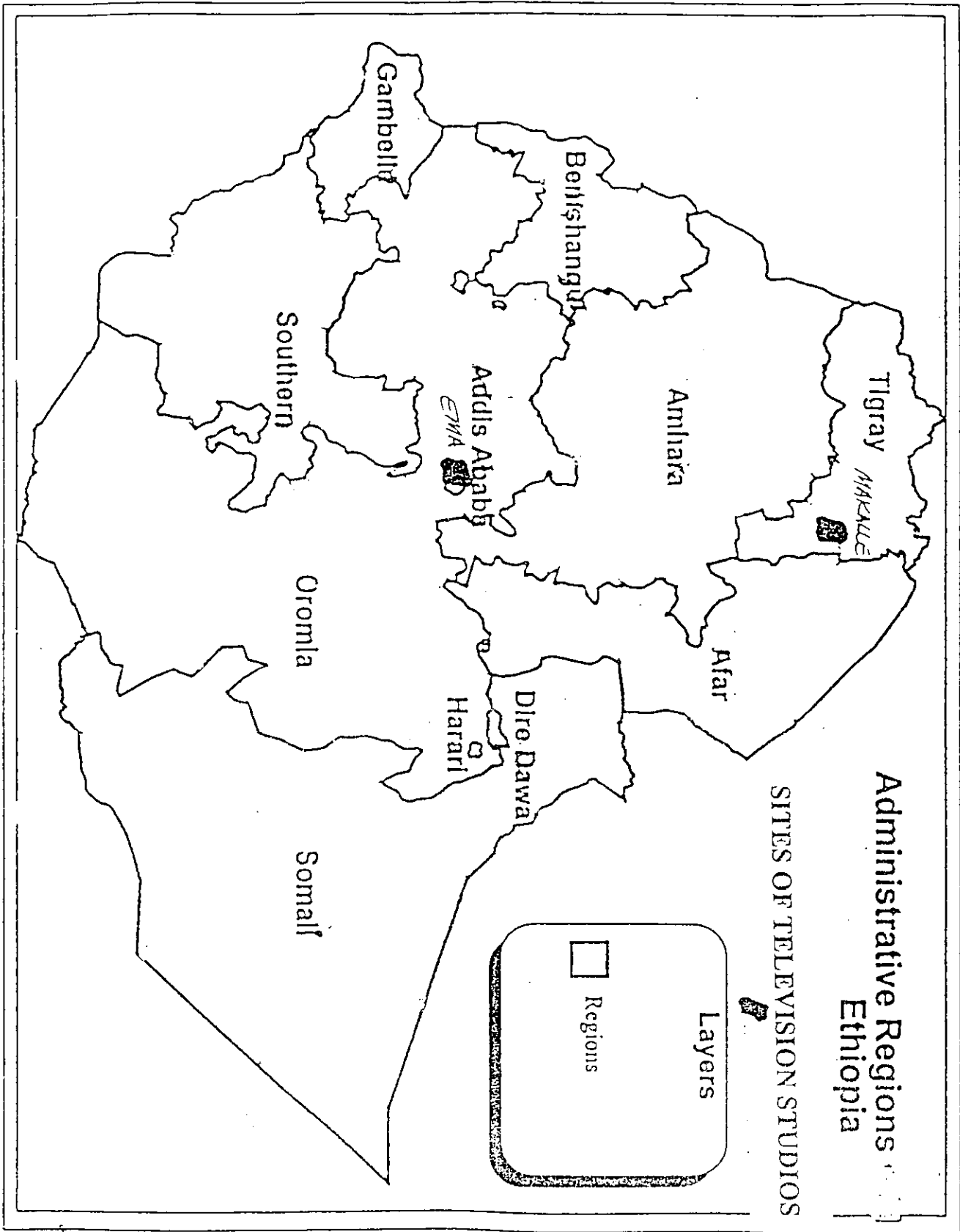
7-10. The Ethiopian side agreed to submit the data concerning the number of schools and students by region, which utilize educational TV programmes by the end of June, 2000 to the JICA Ethiopia office.





*[Handwritten signatures]*

*[Handwritten signature]*

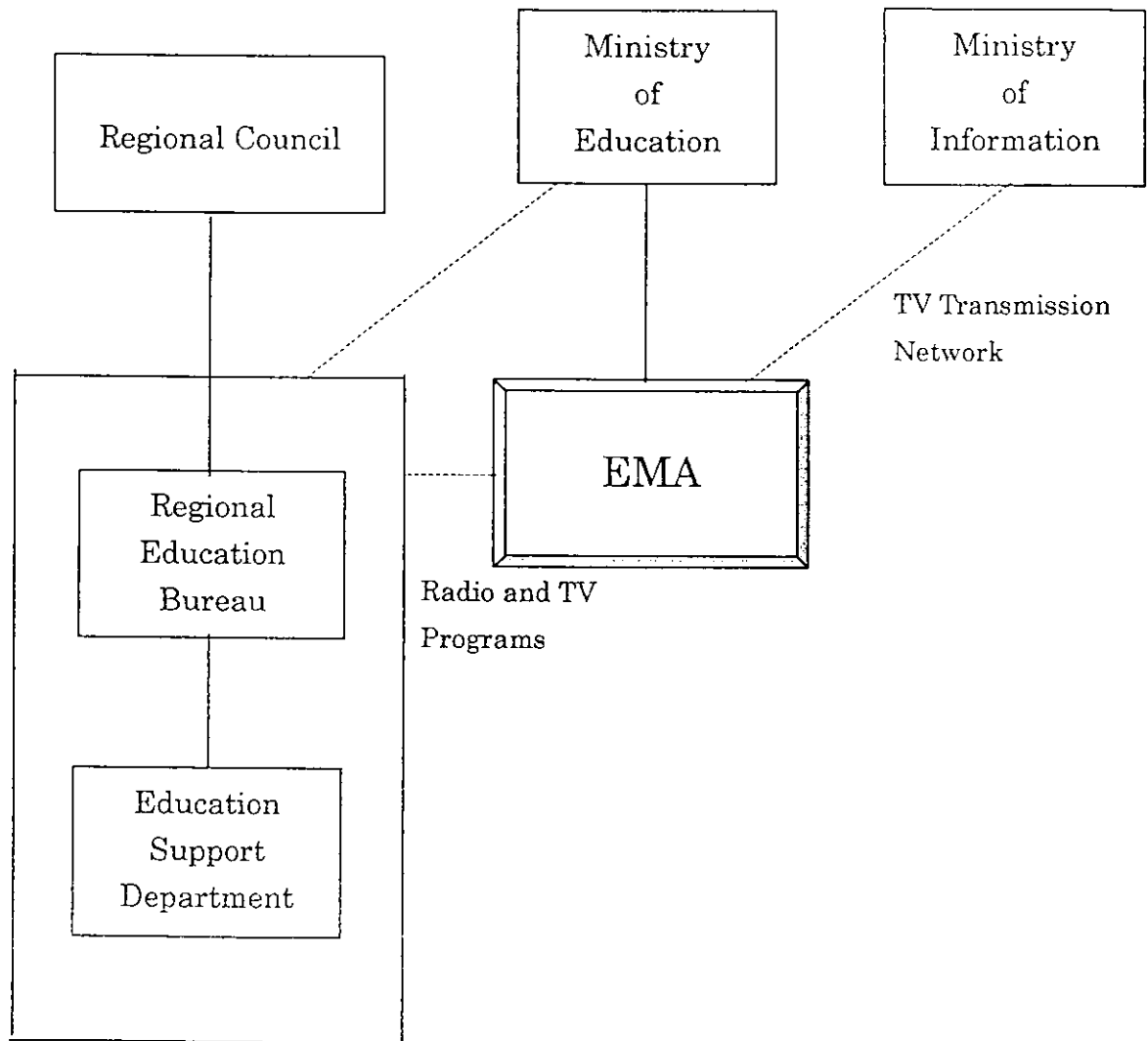


*[Handwritten signature]*

*[Handwritten mark]*

*[Handwritten mark]*

Relationship of Relevant Organizations



*Handwritten signature or initials in the bottom left corner.*

*Handwritten signature or initials in the bottom right corner.*

## Items requested by the Ethiopian side

The JICA Team confirmed with the Ethiopian side as follows:

1. Open reel tape recorder/reproducer will change into CD recorder/player.
2. All major equipment for Radio and TV are digital system.

### Equipment composition

#### 1. Radio Programme Production Equipment

##### 1) Radio Recording Studio (for each studio)

- |  |        |
|--|--------|
| - Microphone and cable with connectors         | 5 sets |
| - Audio mixer (10 input, 6 output and monitor) | 1 set  |
| - CD Player                                    | 2 sets |
| - CD Recorder                                  | 2 sets |
| - CD disk                                      | 1 lot  |
| - Cassette tape recorder                       | 1 set  |
| - Audio monitoring equipment (Amp & SP)        | 2 sets |
| - Operation desk                               | 1 set  |
| - Cable and connector                          | 1 lot  |

##### 2) CD Duplication Room (for each site)

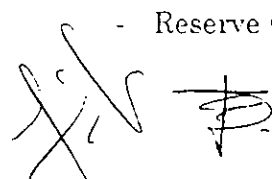
- |   |       |
|---|-------|
| - 1 master, 11 slaves with reserves (1 master & 3 slaves) | 1 set |
| - Audio monitoring equipment                              | 1 set |
| - Operation desk  | 1 set |
| - Cable and connector                                     | 1 lot |

##### 3) CD Editing Room (for each site)

- |                              |       |
|------------------------------|-------|
| - CD editing system          | 1 set |
| - Audio monitoring equipment | 1 set |
| - Operation desk             | 1 set |
| - Cable and connector        | 1 lot |

##### 4) Maintenance Workshop Room (for each site)

- |                               |        |
|-------------------------------|--------|
| - Volt/Current multi meter    | 2 sets |
| - Oscilloscope                | 1 set  |
| - Audio signal test generator | 1 set  |
| - Tool kits                   | 5 sets |
| - Reserve CD player           | 2 sets |




- Reserve CD recorder	2 sets
- Reserve cassette tape recorder	2 sets
<b>5) Power supply equipment (for each site)</b>	
- Non stop power supply unit	1 set
- Automatic voltage regulator	1 set
- Engine-generator	1 set
<b>Transmission studio equipment (for each site)</b>	
- CD Player	6 sets
- Cassette tape recorder	2 sets
- Cable and connector	1 lot
<b>6) Installation materials (for each site)</b>	1 lot

## 2. Television Programme Production Equipment (for each studio)

### 1) TV studio

#### a) Video Equipment

- Vision Production Mixer	1 set
- Colour TV Studio Camera Chain	3 sets
- VTR	3 sets
- Character Generator	1 set
- Colour Bar Generator	1 set
- Sync. Generator	1 set
- Vector Scope	1 set
- Waveform Monitor	1 set
- TBC	1 set
- Video Distribution Amp.	1 lot
- 20 inch Colour Picture Monitor	4 sets
- 14 inch Colour Picture Monitor	15 sets
- Monitor Shelf	1 set
- System Rack	1 set
- Lighting controller	1 set
- Lighting house & lamps	1 lot
- Operation desk	1 set
- Cable with connector	1 lot
- Installation materials	1 lot

*File*

*Handwritten signature*

**b) Audio Equipment**

- Audio Mixer 1 set
- Microphone & cable with connectors 10 sets
- CD Player 2 sets
- CD Recorder/Player 2 sets
- Cassette Tape Recorder 2 sets
- Audio Monitor Amp. 3 sets
- Audio Monitor Speaker 3 sets
- Audio Monitor Speaker with Amp 2 sets
- Audio distribution amplifier 1 lot
- Sound effector 1 set
- Inter Communication System Unit 1 set
- Tally Control Unit 1 set
- On-Air Light Control Unit 1 set
- System Rack 1 set
- Operation Desk 1 set
- Cable with connector 1 lot
- Installation Materials 1 lot

**2) Portable Video recording system 2 sets**

**3) Master control room**

- Audio/Video Matrix Switcher 1 set
- Monitor Select Switch 1 set
- VTR 3 sets
- TV Signal Generator 1 set
- Sync. Generator 1 set
- Vector Scope 1 set
- Video Distribution Amplifier 1 lot
- Audio Distribution Amplifier 1 lot
- Waveform Monitor 1 set
- Colour corrector 1 set
- TBC 1 set
- 20 inch Colour Monitor 1 set
- 14 inch Colour Monitor 1 set
- 9 inch Colour Monitor 3 sets
- Audio Monitor Speaker with Amp 2 sets
- Microwave System 2 sets

- System Rack	1 set
- Monitor Shelf	1 set
- Cable with connector	1 lot
- Installation materials	1 lot
<b>4) Video Tape Editing Room</b>	
<b>a) A/B reel Editing System</b>	
- VTR (Player)	2 sets
- VTR (Recorder)	2 sets
- Video Switcher with multi digital effector	1 set
- Vector Scope	1 set
- Waveform Monitor	1 set
- TBC remote controller	3 sets
- Editing Controller	1 set
- Character generator	1 set
- Audio Mixer	1 set
- 14 inch colour Monitor	4 sets
- Audio Monitor Speaker with Amplifier	2 sets
- System Rack	1 set
- Operation Desk	1 set
- Cable with connector	1 lot
<b>b) Tape to Tape Editing Room</b>	
(2 editing room required)	
- VTR (Player)	2 sets
- VTR (Recorder)	2 sets
- Editing controller	2 sets
- 14 inch colour monitor	4 sets
- Audio monitor speaker with amplifier	4 sets
- Operation desk	2 sets
- Cable with connector	1 lot
<b>c) Non Linear Editing Room</b>	
- Driver	1 set
- Computer display	1 set
- Reference monitor	1 set
- VTR	1 set
- Key board	1 set
- Effect generator	1 set



- Cable with connector 1 lot
- 5) VHS Video Tape Duplicator**
  - Master VTR with reserves 1 set
  - VHS Video Recorder with reserve 4 sets
  - Audio distribution amplifier 1 set
  - Video distribution amplifier 1 set
  - Remote control unit 1 set
  - Monitor switcher 1set
  - Audio monitor 2 sets
  - 14 inch picture monitor 2 sets
  - Cable with connector 1 lot
- 6) Video Tape logging room**  
(preview equipment)
  - VTR player 3 sets
  - 14 inch colour monitor 3 sets
  - VTR controller 3 sets
  - Cable with connector 1 lot
- 7) Power supply equipment**
  - Automatic Voltage regulator 1 set
  - Non Stop Power supply unit 1 set
  - Engine generator 1 set
  - Installation materials 1 lot
- 8) Workshop**
  - Recommended measuring equipment  
for TV studio 1lot
  - Recommended tool kit 5 sets
- 3. Recommended Spare Parts for Radio and TV 1 lot**

Handwritten signatures and initials, including a large stylized signature on the left and a circular stamp or signature on the right.

Handwritten signature in the bottom right corner.

## Japan's Grant Aid Scheme

### 1. Grant Aid Procedures

- 1) Japan's Grant Aid Program is executed through the following procedures.

Application	(Request made by a recipient country)
Study	(Basic Design Study conducted by JICA)
Appraisal & Approval	(Appraisal by the Government of Japan and Approval by Cabinet)
Determination of Implementation	(The Notes exchanged between the Governments of Japan and the recipient country)

- 2) Firstly, the application or request for a Grant Aid project submitted by a recipient country is examined by the Government of Japan (the Ministry of Foreign Affairs) to determine whether or not it is eligible for Grant Aid. If the request is deemed appropriate, the Government of Japan assigns JICA (Japan International Cooperation Agency) to conduct a study on the request.

Secondly, JICA conducts the study (Basic Design Study), using (a) Japanese consulting firm(s).

Thirdly, the Government of Japan appraises the Project to see whether or not it is suitable for Japan's Grant Aid Program, based on the Basic Design Study report prepared by JICA, and the results are then submitted to the Cabinet for approval.

Fourthly, the project, once approved by the Cabinet, becomes official with the Exchange of Notes signed by the Governments of Japan and the recipient country.

Finally, for the implementation of the Project, JICA assists the recipient country in such matters as preparing tenders, contracts and so on.

## 2. Basic Design Study

### 1) Contents of the Study

The aim of the Basic Design Study (hereafter referred to as "the Study"), conducted by JICA on a requested project (hereinafter referred to as "the Project") is to provide a basic document necessary for the appraisal of the Project by the Japanese Government. The contents of the Study are as follows:

- a) Confirmation of the background, objectives, and benefits of the requested Project and also institutional capacity of agencies concerned of the recipient country necessary for Project's implementation.
- b) Evaluation of the appropriateness of the Project to be implemented under the Grant Aid Scheme from a technical, social and economic point of view.
- c) Confirmation of items agreed on by both parties concerning the basic concept of the Project.
- d) Preparation of a basic design of the Project.
- e) Estimation of costs of the Project.

The contents of the original request are not necessarily approved in their initial form as the contents of the Grant Aid project. The Basic Design of the Project is confirmed considering the guidelines of Japan's Grant Aid Scheme.

The Government of Japan requests the Government of the recipient country to take whatever measures are necessary to ensure its self-reliance in the implementation of the Project. Such measures must be guaranteed even though they may fall outside of the jurisdiction of the organization in the recipient country actually implementing the Project. Therefore, the implementation of the Project is confirmed by all relevant organizations of the recipient country through the Minutes of Discussions.

### 2) Selection of Consultants

For smooth implementation of the Study, JICA uses (a) registered consultant firm(s). JICA selects (a) firm(s) based on proposals submitted by interested firms. The firm(s)

selected carry(ies) out a Basic Design Study and write(s) a report, based upon terms of reference set by JICA.

The consultant firm(s) used for the Study is(are) recommended by JICA to the recipient country to also work on the Project's implementation after the Exchanges of Notes, in order to maintain technical consistency.

### 3. Japan's Grant Aid Scheme

#### 1) Grant Aid

The Grant Aid Program provides a recipient country with non-reimbursable funds to procure facilities, equipment and services (engineering services and transportation of the products, etc.) for economic and social development of the country under principles in accordance with the relevant laws and regulations of Japan. Grant Aid is not supplied through the donation of materials as such.

#### 2) Exchange of Notes (E/N)

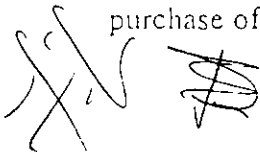
Japan's Grant Aid is extended in accordance with the Notes exchanged by the Governments concerned, in which the objectives of the Project, period of execution, conditions and amount of the Grant Aid, etc. are confirmed.

- 3) "The period of the Grant Aid" means the one fiscal year which the Cabinet approves the Project for. Within the fiscal year, all procedures such as exchanging of the Notes, concluding contracts with (a) consultant firm(s) and (a) contractor(s) and a final payment to them must be completed.

However in case of delays in delivery, installation or construction due to unforeseen factors such as weather, the period of the Grant Aid can be further extended for a maximum of one fiscal year by mutual agreement between the two Governments.

- 4) Under the Grant Aid, in principle, Japanese products and services including transport or those of the recipient country are to be purchased.

When the two Governments deem it necessary, the Grant Aid may be used for the purchase of the products or services of a third country.



However the prime contractors, namely, consulting, contracting and procurement firms, are limited to "Japanese nationals". (The term "Japanese nationals" means persons of Japanese nationality or Japanese corporations controlled by persons of Japanese nationality.)

5) Necessity of the "Verification"

The Government of recipient country or its designated authority will conclude contracts denominated in Japanese yen with Japanese nationals. Those contracts shall be verified by the Government of Japan. This "Verification" is deemed necessary to secure accountability to Japanese taxpayers.

6) Undertakings required of the Government of the Recipient Country

In the implementation of the Grant Aid project, the recipient country is required to undertake such necessary measures as the following:

- (1) To secure land necessary for the sites of the Project and to clear, level and reclaim the land prior to commencement of the construction.
- (2) To provide facilities for distribution of electricity, water supply and drainage and other incidental facilities in and around the sites.
- (3) To secure buildings prior to the procurement in case the installation of the equipment.
- (4) To ensure all the expenses and prompt execution for unloading, customs clearance at the port of disembarkation and internal transportation of the products purchased under the Grant Aid.
- (5) To exempt Japanese nationals from customs duties, internal taxes and other fiscal levies which will be imposed in the recipient country with respect to the supply of the products and services under the Verified Contracts.
- (6) To accord Japanese nationals whose services may be required in connection with the supply of the products and services under the Verified Contracts, such

facilities as may be necessary for their entry into the recipient country and stay therein for the performance of their work.

(7) Proper Use

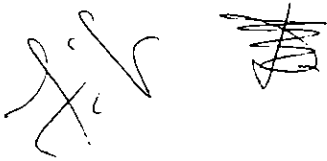
The recipient country is required to maintain and use facilities constructed and equipment purchased under the Grant Aid properly and effectively and to assign staff necessary for this operation and maintenance as well as to bear all the expenses other than those covered by the Grant Aid.

(8) Re-export

The products purchased under the Grand Aid should not be re-exported from the recipient country.

(9) Banking Arrangement (B/A)

- a) The Government of the recipient country or its designated authority should open an account in the name of the Government of the recipient country in a bank in Japan (hereinafter referred to as "the Bank"). The Government of Japan will execute the Grant Aid by making payments in Japanese yen to cover the obligations incurred by the Government of the recipient country or its designated authority under the verified contracts.
- b) The payments will be made when payment requests are presented by the Bank to the Government of Japan under an authorization to pay issued by the Government of the recipient country or its designated authority.

Handwritten signature and a rectangular stamp, possibly a seal or official mark, located below the text of item (b).Handwritten signature in the bottom right corner of the page.

NO	Items	To be covered by Grant Aid	To be covered by Recipient side
1	To bear the following commissions to a bank of Japan for the banking services based upon the B/A		
	1) Advising commission of A/P		●
	2) Payment commission		●
2	To ensure prompt unloading and customs clearance at the port of disembarkation in recipient country		
	1) Marine(Air) transportation of the products from Japan to the recipient country	●	
	2) Tax exemption and custom clearance of the products at the port of disembarkation		●
	3) Internal transportation from the port of disembarkation to the project site	(●)	(●)
3	To accord Japanese nationals whose services may be required in connection with the supply of the products and the services under the verified contract such facilities as may be necessary for their entry into the recipient country and stay therein for the performance of their work		●
4	To exempt Japanese nationals from customs duties, internal taxes and other fiscal levies which may be imposed in the recipient country with respect to the supply of the products and services under the verified contract		●
5	To maintain and use properly and effectively the facilities constructed and equipment provided under the Grant Aid		●
6	To bear all the expenses, other than those to be borne by the Grant Aid, necessary for the transportation and installation of the equipment		●

## Preparation Stage of Radio and Television Studios

Region	City	Radio Studio		Television Studio		
		No.	Preparation Stage	No.	Preparation Stage	
1	Addis Ababa	Addis Ababa	1	B		
2	Afar	Semera	1	D		
3	Benishangul	Assosa	1	A		
4	Dire Dawa	Dire Dawa	1	C		
5	Gambella	Gambella	1	A		
6	Harari	Harar	1	D		
7	SNNP	Mizan Teferi	1	D		
8	Tigray	Mekelle			1	D
9	EMA	Addis Ababa	2	A, A	1	A
Total			9	4A, 1B, 1C, 3D	2	1A, 1D

## Note:

A: Construction of the studio building is completed.

B: Construction of the building for the use of the permanent studio is completed.

C: Construction has not started. The studio site is selected and acquired by the regional education bureau. The provisional studio room is selected and approved by the regional council.

D: Construction has not started. The studio site is selected but not acquired by the regional education bureau. The provisional studio room is selected and approved by the regional council.



## 添付資料 12 面会者リスト

### 1. 教育省

Teferi Hagos Desta, Head of Planning and Programming Department  
Haile sellassie Kebele, Head of External Relations Panel  
Mulu Legesse, Expart, External Relations Panel

### 2. EMA

Demissew Bekele General Manager  
Assefa Demeke, Head of Engineering & Technical Coordinatio  
Amsalu Amente Head of Studio Operation Panel  
Makonnen Dechnassa Head of TV Studio, Station Operation Panel

### 3. 経済開発協力省 (MEDaC)

Hailemichael Kinfu, Head of Bilateral Cooperation Department, Ministry  
of Economic Development and Cooperation  
Tamirat Kediso, Head of Asia and Australian Team  
Tassew Bekele, Head of European Countries Cooperation Team  
Asnakeeh Teferra, Senior Expert, Asia and Australian Desk

### 4. Afar Region

#### (1) Educational Support Department

Yasin Yayo, Department Head  
Getahun Mekonen, Expert of Curriculum Department  
Mathias Temesgen, Public Relations Officer, Agar Region Education  
Department  
Ejigu Mekoneen, Expert

#### (2) Ewket Choro 小学校

Gtrwa Sisheshi, Principal of Ewket Choro Elementary & Junior School

### 5. Addis Ababa Region

#### (1) 州教育局

Tesfamarian Glmariam, Region Head of Education.Media.Agency,  
Alem Debele, Head of Department of Educational Support and Supply  
Region of Education Bueaoue  
Sentayehu Tsegan, Radio Studio Head of Addis Ababa

### 6. Benishangul-Gumuz Region

#### (1) 州教育局

Ato Hailu Chaine, Head of the Education Bureau  
Ato Negussu Delelegn, Radio & TV Programme Coordinator

**Ato Adam Moalim, Budget and Programme Expert**

**Ebba Abdella, Radio Programme Producer**

(2) **Assosa High School**

**Tezera Mekonnen, Head of the School**

#### **7. Harari Region**

(1) **州教育局**

**Jebessa Glkidan, Head of Supplementary Education Bureau**

**Abebe Zewdie, Team Leader for Educational Media**

**Wolbe Amanuel, Bureau of Information and Public Relations**

(2) **Medhane Alem 中学校**

**Sissay Mulunen, Principal**

**Lemma Mengisfu, Vice Principal**

#### **8. Dire Dawa Region**

(1) **州教育局**

**Ahmed Ragie, Head of Education & Culture Office (E&CO)**

**Melahu Lemenih, Supporting Department Expert, E&CO**

**Saed Hasseaf, Planning and Programme Department Expert, E&CO**

(2) **, Dippo 小学校**

**Tadesse Endaleman, Prencipal, Dippo Elementary School**

(3) **Sabian 中学校**

**Sa Debebe Zewclie, Diploma Sabian Secondary School**

(4) **Administrative Council**

**Mohamed Sh. Aden, Head of Economic Service Sector**

#### **9. Gambella Region**

(1) **州教育局**

**Omod Onian, Ed/Py/Su/Deputy Director, Education Bureau**

**Bol Keat, Head of curriculum Department**

**Alemayehu Demissie, Planning & Programming Expert**

**Alhjal Gach, Head of Educational Material Support**

**Ager Eshetu Ayele, Educational Media Team Leader**

**Tilahun Mekashu, Educational Infrastructure construction &  
maintenance Unit**

**Biresa Buja, Educational Media**

**Alemayehu Momo, Head of Public Relations & Information Service**

**Ujulu Uchala, Finance Administration**

(2) **Openo 中学校**

- Melaku Tegegn, Principal
- (3) Ras Dobena 小学校  
Mulugeta Bekele, Principal  
Dereje Tefera, Vice Principal
- 10. SNNP Region**
- (1) Bench Maji Zone 教育局  
Solomon Ludano, Head of Distance Education at Awasa  
Deneke Mamo, Head of Bench Maji Zone Education Department  
Zealelem Likayehu, Bench Maji Zone Education Support & Supply
- (2) Mizan Teferi 小学校  
Asnakech Glegeiabher, Vice Principal
- (3) Gacheb 小学校  
Tamiru Wiges, Principal
- (4) Mizan High School  
Dejene Sileshi, Director  
Kitessa Hundera, Vice Director
- 11. FINNIDA**  
Mr. Heikki Haili, Counselor
- 12. 世界銀行**  
Mr. Nicholas Bennet, Principal Human Resource Development Specialist
- 13. UNICEF**  
Mr. K. Ramachandran, Chief, Education Sector &  
WIBS Programme Coordinator  
Central Regions  
Mr. Mequanint Ejigu, Programme officer, Education
- 14. SIDA**  
Mr. Arne Carlsgard, Counselor
- 15. 在エティオピア日本大使館**  
野上武久特命全権大使  
中須賀聡一等書記官、  
吉田晴彦一等書記官
- 16. JICA**  
平澤昭男所長、  
成田映太所員、  
亀井里美企画調査員、

- Melaku Tegegn, Principal
- (3) Ras Dobena 小学校  
Mulugeta Bekele, Principal  
Dereje Tefera, Vice Principal
10. SNNP Region
- (1) Bench Maji Zone 教育局  
Solomon Ludano, Head of Distance Education at Awasa  
Deneke Mamo, Head of Bench Maji Zone Education Department  
Zealealem Likayehu, Bench Maji Zone Education Support & Supply
- (2) Mizan Teferi 小学校  
Asnakech Glegeiabher, Vice Principal
- (3) Gacheb 小学校  
Tamiru Wiges, Principal
- (4) Mizan High School  
Dejene Sileshi, Director  
Kitessa Hundera, Vice Director
11. FINNIDA  
Mr. Heikki Haili, Counselor
12. 世界銀行  
Mr. Nicholas Bennet, Principal Human Resource Development Specialist
13. UNICEF  
Mr. K. Ramachandran, Chief, Education Sector &  
WIBS Programme Coordinator  
Central Regions  
Mr. Mequanint Ejigu, Programme officer, Education
14. SIDA  
Mr. Arne Carlsgard, Counselor
15. 在エティオピア日本大使館  
野上武久特命全権大使  
中須賀聡一等書記官、  
吉田晴彦一等書記官
16. JICA  
平澤昭男所長、  
成田映太所員、  
亀井里美企画調査員、